2025

京都芸術大学

外国人留学生募集要項

入学定員の増加に関するお知らせ（認可申請中）

以下の学科において入学定員増加の認可申請を文部科学省へおこなっております。

・情報デザイン学科

この募集要項においては、正式に認可がおりるまで、各学科の入学定員は現状の情報を掲載いたしますのでご注意ください。

変更後の詳細はWEBサイトをご確認ください。本件に関するお問い合わせは以下フリーダイヤルまでご連絡をお願いします。

大学ＷＥＢ サイト
募集定員ページ

【お問い合わせ先】
京都芸術大学アドミッション・オフィス
TEL：０１２０-５９１-２００

2025年度入学者用

外国人留学生募集要項

02　エントリー資格・出願資格
03　コース一覧
04　オープンキャンパス＆入試スケジュール
05　授業形式｜外国人留学生体験授業型入試Ⅰ期・Ⅱ期(エントリー方式)
07　外国人留学生体験授業型入試Ⅰ期　情報デザイン学科受験日程について
08　外国人留学生体験授業型入試Ⅰ期・Ⅱ期　授業内容・評価ポイント・持参物
20　面接形式｜外国人留学生入試 Ⅰ期・II期
23　筆記形式｜外国人留学生科目選択型入試 Ⅰ期・Ⅱ期
27　共通テスト｜外国人留学生日本留学試験利用型入試
29　【重要】エントリー・出願について
30　外国人留学生体験授業型入試(Ⅰ期・Ⅱ期) エントリー・出願に必要な書類
32　外国人留学生入試(Ⅰ期・Ⅱ期)出願に必要な書類
34　外国人留学生科目選択型入試(Ⅰ期・Ⅱ期)出願に必要な書類
36　外国人留学生日本留学試験利用型入試 出願に必要な書類
38　エントリー・出願の手続きの流れ
42　入学試験共通の注意事項
43　Q&A よくある質問
45　試験会場
46　合否判定
47　入学手続
48　入学辞退・入学取消／その他の入学試験
49　入学後に必要となる教材・機材
50　留学生活の支援について／住宅支援について
51　取得できる資格
52　教育目標(ディプロマ・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／アドミッション・ポリシー)

エントリー資格・出願資格

外国籍で「留学」以外の適切な在留資格を得ている（または得る予定の）方、日本を含む重国籍を持っている方は、この募集要項ではなく、日本人用「学生募集要項2025」をご覧ください。

国　籍　次に該当する者

外国籍を有し、入学に際して「留学」の在留資格が得られる者

※外国籍でも、入学に際して「留学」以外の適切な在留資格を得ている（または得る予定の）方は、外国人留学生の入学試験は受験できません。
※日本を含む重国籍を持っている方は、外国人留学生の入学試験は受験できません。

年齢・学歴　2025年4月1日時点において、以下❶❷の条件を満たす者

❶年齢：18歳以上の者、もしくは18歳未満でも文部科学省の定める大学入学資格を有する者

❷学歴：次のいずれかに該当する者

①外国籍を有し、外国において学校教育における12年の課程を修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者
（12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程を修了する必要がある）。

②外国籍を有し、外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者
（12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程を修了する必要がある）。

③外国籍を有し、国際バカロレア資格（Diploma取得）、アビトゥア資格、バカロレア、GCEAレベルを保有する者。

④国際的な認証団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC）から認定を受けた教育施設の12年の課程の修了した者。
※CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。

⑤外国籍を有し、日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2025年3月までに卒業見込みの者。
※他大学等を中途退学して本学に入学する場合、退学日が2025年3月31日までであること（4月1日以降になる場合、入学を許可できません）。

日本語能力　エントリー・出願時点で下記の条件を満たしている者

●独立行政法人 日本学生支援機構（JASSO）が主催する日本留学試験（EJU）の「日本語」を以下の日程で受験した（する）者。
2023年6月／2023年11月／2024年6月／2024年11月

●日本国際教育支援協会（JEES）が主催する日本語能力試験（JLPT）のN2レベル以上を以下の日程で受験した（する）者。
2022年12月／2023年7月／2023年12月／2024年7月
（注意）2024年12月実施分は対象外です。

※ただし❷学歴の条件において日本の高等学校もしくは中等教育学校卒業（見込）者は日本語能力を免除します。

重　要　追加出願資格

以下の入試は追加で出願条件があります

外国人留学生 科目選択型入試（II期）	出願時に「留学生」の在留資格が2025年3月31日まであること ※出願時に更新手続きをしている方も受験可能
外国人留学生 日本留学試験利用型入試	出願時に「留学生」の在留資格が2025年3月31日まであること ※出願時に更新手続きをしている方も受験可能 --- 日本留学試験（ＥＪＵ）を2023年6月または11月、 2024年6月または11月のいずれかの試験において 「日本語」および「日本語」以外に1科目以上受験した者

コース一覧

学科	コース	定員	学べる領域
美術工芸	日本画	210	岩絵具表現｜墨表現｜箔表現｜デッサン・写生｜古典絵画模写｜表現のための技法・素材研究｜日本画を通しての日本美術史
	油画		油画｜版画｜デッサン｜テンペラ・フレスコ｜ドローイング｜デジタル表現｜美術史・絵画史｜鑑賞と読み解き｜展覧会運営
	写真・映像		写真｜映像｜現代アート｜写真史・映像史
	染織テキスタイル		染め｜織り｜ファッションテキスタイル｜インテリアテキスタイル｜伝統工芸｜ファイバーアート｜現代アート｜生活雑貨
	総合造形		彫刻｜陶芸｜現代美術｜3Dモデリング｜デジタルファブリケーション
	アートプロデュース		アートプロデュース｜鑑賞教育｜コミュニティデザイン｜美術史・美学・美術批評｜博物館学｜アートプロジェクト論｜文化政策
	文化財保存修復・歴史遺産		文化財保存修復（民俗文化財・東洋書画・文化財科学）・歴史遺産学（フィールド調査・伝統文化・デジタル考古学・遺跡庭園学）
キャラクターデザイン	キャラクターデザイン	200	アニメーション｜CG｜ゲーム｜キャラクターイラスト｜コンテンツプロデュース｜UIデザイン｜VFX｜サウンド｜脚本｜メディアアート
	マンガ		ストーリーマンガ｜デジタルコミック｜コミックイラスト｜小説コミカライズ｜マンガ編集｜マンガビジネス｜マンガ研究
情報デザイン	ビジュアルデザイン	180	グラフィックデザイン｜広告｜セールスプロモーション｜商品企画｜エディトリアルデザイン｜ロゴデザイン｜イベント企画｜サイン計画
	イラストレーション		イラストレーション｜グッズ・雑貨デザイン｜商品企画｜グラフィックアート｜展覧会企画｜カルチャー｜セルフプロモーション
	ゲームクリエイション		企画｜ゲームデザイン｜グラフィックデザイン｜UI/UXデザイン｜3DCG｜AI｜シナリオ｜ゲーミフィケーション｜カルチャー｜ゲーム史
	映像クリエイション		映像｜UI/UXデザイン｜モーショングラフィックス｜3DCG｜CM｜MV｜アニメーション｜SNS・流行｜動画企画・配信｜BGM
プロダクトデザイン	プロダクトデザイン	75	電機製品｜家具｜自動車・自転車など｜IT ・IoT 製品 ｜文具｜生活雑貨｜伝統産業品｜照明器具｜福祉関連｜ゲーム・玩具｜食器｜UXデザイン
	クロステックデザイン		企画｜サービスデザイン｜DX｜IoT｜テクノロジー｜プログラミング｜ネットワーク｜マーケティング｜ブランディング｜ビジネス（経営・起業）
空間演出デザイン	空間デザイン	60	ソーシャルデザイン｜企画｜ディスプレイデザイン｜インテリア｜地域デザイン｜プロジェクトデザイン｜ブランディング｜展示｜生活プロダクト
	ファッションデザイン		ファッション｜企画｜ジュエリー｜ソーシャルデザイン｜ブランディング｜伝統文化デザイン｜地域デザイン｜雑貨デザイン｜VMD｜スタイリング
環境デザイン	建築・インテリア・環境デザイン	70	建築｜住宅｜まちづくり｜インテリア｜家具｜ランドスケープ｜庭園
映画	映画製作	90	プロデュース｜監督｜脚本｜撮影｜照明｜録音｜映像美術｜編集｜配給・宣伝｜批評・研究｜テレビドラマ｜CM｜MV｜動画配信｜CG合成
	俳優		俳優｜声優｜ボーカル｜ダンス｜アクション｜殺陣｜アナウンサー｜ナレーター｜SNS配信
舞台芸術	演技・演出	90	演技｜演出｜ダンス｜ミュージカル｜声優｜ボーカル｜殺陣｜劇作｜舞台プロデュース｜日本舞踊｜舞台芸術論・舞台芸術史｜作品研究
	舞台デザイン		舞台美術｜照明｜音響｜舞台映像｜舞台衣装｜大道具｜小道具｜舞台監督｜劇場管理｜舞台芸術論・舞台芸術史
文芸表現	クリエイティブ・ライティング	45	小説｜戯曲・脚本｜エッセイ｜取材記事執筆・ノンフィクション｜編集｜評論｜詩｜短歌｜俳句｜ゲームシナリオ｜広告・コピーライティング
こども芸術	こども芸術	30	幼児教育｜保育｜こども家庭福祉｜こどもの発達｜子育て支援｜食育｜心理学｜ソーシャルワーク｜あそびのデザイン｜保育環境デザイン

合計｜1050名

オープンキャンパス＆入試スケジュール

オープンキャンパス（2～9月）

2/10(土)・11(日) ｜ 3/23(土)・24(日) ｜ 4/28(日) ｜ 5/12(日) ｜
6/1(土)・2(日) ｜ 6/29(土) ｜ 7/27(土)・28(日) ｜ 8/24(土)・25(日) ｜ 9/28(土)

入試一覧

9 September

外国人留学生 体験授業型入試Ⅰ期
A日程｜ 9/13(金)　B日程｜ 14(土)
C日程｜ 15(日)　D日程｜ 16(月･祝)

10 October

外国人留学生 体験授業型入試Ⅱ期
A日程｜ 10/12(土)　B日程｜ 13(日)

外国人留学生入試Ⅰ期
10/19(土)

11 November

外国人留学生 科目選択型入試Ⅰ期
11/22(金)

12 December

外国人留学生 入試Ⅱ期
12/7(土)

2024 1 January

外国人留学生 科目選択型入試Ⅱ期
2025 / 1/30(木)

外国人留学生日本留学試験利用型入試

入試日程

エントリー書類・出願書類の提出はすべて必着となります。
海外から郵送する場合は日数がかかりますので、早めにインターネット出願(エントリー)登録をおこない、すぐに書類を提出してください。居住地域によって必着日は変わりませんのでご注意ください。

授業形式(エントリー方式)

入試種別	インターネットエントリー登録期間	エントリー書類提出期間	試験日	実施会場	エントリー結果発表日	一次審査合格発表日	最終合格発表日	詳細ページ
外国人留学生 体験授業型入試Ⅰ期	8/20(火) ～ 30(金)	8/20(火) ～ 9/2(月) 必着	A日程 9/13(金)　B日程 9/14(土) C日程 9/15(日)　D日程 9/16(月･祝)	京都	9/24(火)	11/1(金)	2025年 1/8(水)	P05
外国人留学生 体験授業型入試Ⅱ期	9/19(木) ～ 28(土)	9/19(木) ～ 10/1(火) 必着	A日程 10/12(土)　B日程 10/13(日)	京都	10/18(金)	11/1(金)	2025年 1/8(水)	P05

面接形式

入試種別	インターネット出願登録期間	出願書類提出期間	試験日	実施会場	一次・二次審査合格発表日	最終合格発表日	詳細ページ
外国人留学生 入試Ⅰ期	7/22(月) ～ 29(月)	7/22(月) ～ 8/1(木) 必着	10/19(土)	オンライン	一次：9/20(金) 二次：11/1(金)	2025年 1/8(水)	P20
外国人留学生 入試Ⅱ期	10/22(火) ～ 29(火)	10/22(火) ～ 11/1(金) 必着	12/7(土)	オンライン	11/27(水)	2025年 1/8(水)	P20

筆記形式

入試種別	インターネット出願登録期間	出願書類提出期間	試験日	実施会場	一次審査合格発表日	最終合格発表日	詳細ページ
外国人留学生 科目選択型入試Ⅰ期	10/22(火) ～ 29(火)	10/22(火) ～ 11/1(金) 必着	11/22(金)	京都・東京・名古屋・岡山・福岡	12/2(月)	2025年 1/8(水)	P23
外国人留学生 科目選択型入試Ⅱ期	12/23(月) ～ 2025年1/4(土)	12/23(月) ～ 2025年1/6(月) 必着	2025年 1/30(木)	京都・東京・名古屋・岡山・福岡		2025年 2/7(金)	P23

外部試験利用形式

入試種別	インターネット出願登録期間	出願書類提出期間	試験日	実施会場	最終合格発表日	詳細ページ
外国人留学生日本留学試験利用型入試	2025年 2/10(月) ～ 17(月)	2025年 2/10(月) ～ 19(水) 必着	日本留学試験各試験日 ※本学独自の試験はありません。	日本留学試験各会場	2025年 3/5(水)	P27

授業形式

外国人留学生体験授業型入試 Ⅰ期・Ⅱ期（エントリー方式）

募集定員　Ⅰ期 50％ ｜ Ⅱ期 10％

入試のポイント
- エントリー（体験授業の受講）無料。
- 出願手続時の検定料について、2024年2月～9月のオープンキャンパスに参加した方は、2万円減免。
- 志望するコースの授業を1日受講。複数コースの授業を受けて進学先を決めることができます。

会場　京都

評価のポイント　P8-19に記載

コース併願　Ⅰ期 最大3コース※　Ⅱ期 最大2コース※

同一コースで複数日程エントリーすることや、1日で複数コースをエントリーすることはできません。※情報デザイン学科は、4コース共通で体験授業を行います。情報デザイン学科内でのコース併願を希望する場合は、1日の授業で最大4コースまで併願可能です。そのため、情報デザイン学科と他学科を受験する場合は、Ⅰ期は最大6コース、Ⅱ期は最大5コースの併願が可能です。※複数コースを併願する場合、志望順位を決めて申し込んでいただきますが、出願時に出願手続（進学）するコースは、体験授業の印象などを考慮して決めることが可能です。

	Ⅰ期	Ⅱ期
1 インターネットエントリー登録	8月20日（火）～30日（金）※最終日は23:59まで登録可	9月19日（木）～28日（土）※最終日は23:59まで登録可
2 エントリー書類提出	8月20日（火）～9月2日（月）※必着	9月19日（木）～10月1日（火）※必着
3 試験日（体験授業を受講）	A日程｜9月13日（金） B日程｜14日（土） C日程｜15日（日） D日程｜16日（月・祝）（情報デザイン学科のみ） 予備日｜16日（月・祝） 試験時間｜各日9:30～16:30 ※自然災害等の事情でA～C日程の入試が実施できない場合、予備日で入試を実施します。 詳細はP07	A日程｜10月12日（土） B日程｜13日（日） 試験時間｜各日9:30～16:30
4 エントリー結果発表	9月24日（火） ※10:00にインターネットエントリーサイトにて出願可者の受験番号一覧を公表（インターネットエントリーサイトへのログインが必要です）	10月18日（金） ※10:00にインターネットエントリーサイトにて出願可者の受験番号一覧を公表（インターネットエントリーサイトへのログインが必要です）
5 出願手続	9月25日（水）～10月7日（月）※必着	10月19日（土）～26日（土）※必着
6 一次審査合格発表	11月1日（金）通知投函 ※WEB発表なし	
7 0年生プログラム（必修）	第1回 登学日｜12月1日（日） 第2回 登学日｜2025年2月8日（土）～16日（日） ※第2回登学日については、コースごとにいずれか1日を指定	
8 最終合格発表	2025年1月8日（水）通知投函 ※WEB発表なし	
9 入学手続	2025年1月17日（金）手続締切	

1 インターネットエントリー登録

手続：インターネット　検定料：エントリー無料

① コース・日程を選ぶ

1日程につき1コースの体験授業（情報デザイン学科は4コース共通で実施）となります。日程は、情報デザイン学科の一部以外*自分で選択でき1コースからエントリーできます。
※P07体験授業型入試Ⅰ期情報デザイン学科受験日程についてを必ず確認してください。

② エントリー

証明写真をデータで用意し、フォームよりエントリーしてください。
※締め切り間際はアクセスが集中しますので余裕を持って登録してください。エントリー期間終了後、エントリー内容の変更はできません。詳細はP38

2 エントリー書類提出

①エントリー書類提出

エントリー書類をダウンロード・印刷してください。その他必要な書類と共に郵送または窓口持参にて提出してください。エントリーに必要な書類はP30を確認してください。
窓口受付｜月～土9:00～17:30（日・祝休）、年末年始期間の窓口受付は行なっておりません。
※海外から郵送する場合は日数がかかりますので早めにインターネット出願登録を行い、すぐに書類を提出してください。必着日は変わりませんのでご注意ください。詳細はP40

② 受験票をダウンロード

エントリー時に登録されたメールアドレスに受験票発行通知メールをお送りします。各自でダウンロード・印刷し、試験日にお持ちください。試験当日の注意事項が記載されています。
※試験前日になっても受験票発行通知メールが届かない場合は、アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。詳細はP41

3 試験日（体験授業を受講）

試験時間｜各日9:30 ～ 16:30
体験授業型入試Ⅰ期のみ、自然災害等の事情でA ～ C日程の入試が実施できない場合、予備日で入試を実施します。
各コースの体験授業内容、評価ポイント、持参物はP8-19

4 エントリー結果発表

「出願可」の場合

※「出願可」通知と出願に関する書類を大学より郵送します。

入学の意思がある方は、出願手続に進んでください。複数コースで「出願可」の場合は、体験授業の印象などを考慮し、出願手続（進学）するコースを決めてください。入学の意思がない場合は出願手続をしなくても、以降の入試に影響はありません。

「出願不可」の場合

※出願不可であった場合、結果通知は郵送しません。

今回の結果に関して、以降の入試に影響はありません。Ⅰ期の場合は「外国人留学生体験授業型入試Ⅱ期」以降、Ⅱ期の場合は「外国人留学生科目選択型入試Ⅰ期」以降の入試にチャレンジしてください。

5 出願手続 ※出願手続より専願となります

手続：郵送 または 窓口持参　検定料：35,000円 または 15,000円

※2024年2月-9月実施のオープンキャンパスに参加した場合は検定料15,000円

オープンキャンパススケジュールはP04

大学より送付する出願書類を郵送または窓口持参にて提出してください。
出願手続後の辞退は受け付けません。また、これ以降、別途試験はありません。
出願に必要な書類はP30-31を確認してください。

【重要】専願とは最終合格となったら本学に入学することを前提として出願することです。
入学辞退はできませんのでよく検討して出願してください。

6 一次審査合格発表

出願手続を完了した方に一次審査合格通知を送付します。

7 0年生プログラム（必修）

外国人留学生体験授業型入試で合格された方は、大学での創作・研究に向かうための、指定の登学日に大学での授業に参加するほか、大学での学修に必要な基礎を養うための課題に取り組みます。入学後にどのような授業が始まっていくのか期待を膨らませ、また入学までに何を意識して、何に取り組むべきかを授業の中で感じ取ってください。
※0年生プログラムへの取り組みが適切に行われない場合は、改善指導をします。指導をした上でも改善が見られない場合は、入学許可を取り消す場合があります。
※0年生プログラムの内容は変更となる場合があります。

8 最終合格発表

日本留学試験「日本語」の成績または日本語能力試験の結果および0年生プログラムの取り組み具合等を総合的に判定します。
合格者には合格通知、入学手続要項などの書類を送付します。

9 入学手続

締切日までに入学手続時納入金を納め、入学手続を済ませてください。詳細はP47

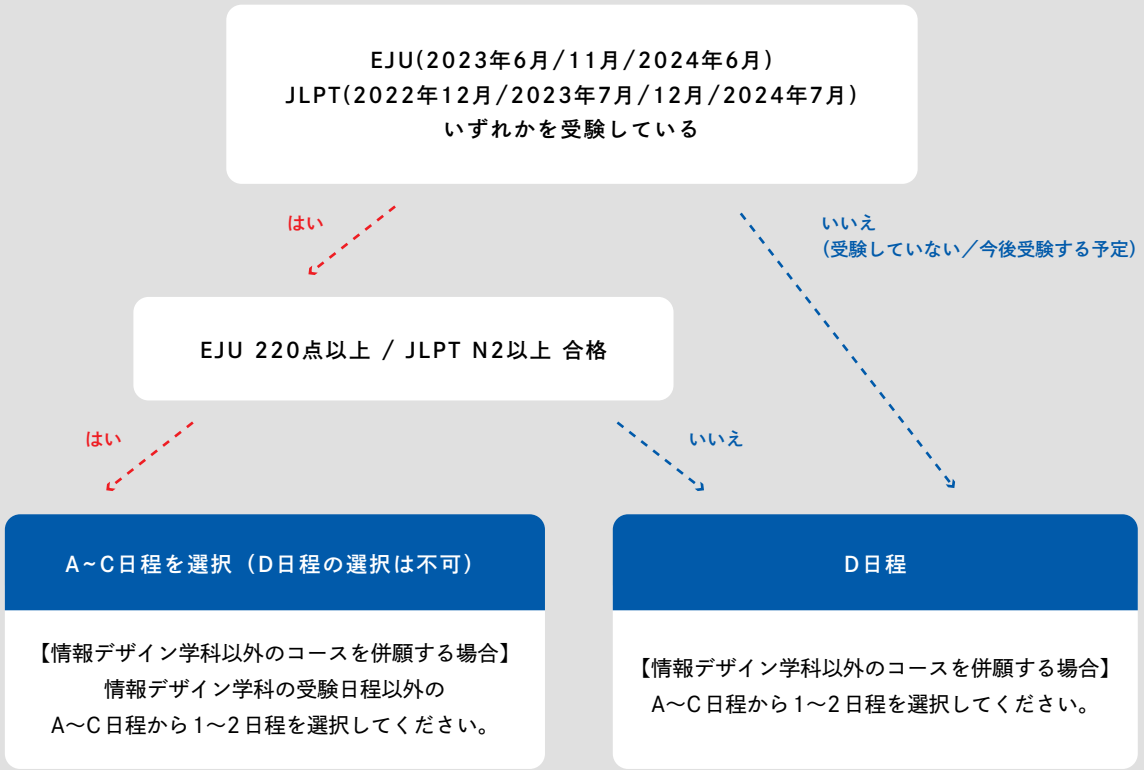
外国人留学生体験授業型入試Ⅰ期
情報デザイン学科受験日程について

ビジュアルデザインコース/イラストレーションコース
ゲームクリエイションコース/映像クリエイションコース

・1日程で最大4コースまで併願可能
・4コース共通授業

・受験会場調整のため、受験日程が日本語能力により変わります。合否に影響はありません。
・他のコースとの併願は可能です。

<日本語条件における情報デザイン学科日程選択の流れ>



受験日程が日本語能力により変わります。

・受験会場調整のため、受験日程が日本語能力により変わります。合否に影響はありません。
・A~D日程の授業内容は同じです。全ての日程で通訳等の特別な配慮はありません。
・インターネットエントリー時に現在の日本語能力の取得状況を申告していただきます。
・インターネットエントリーの時、自身の日本語能力について正しく申告を行わなかった場合、
　受験の際に不利益に繋がる可能性があります。
・EJU/JLPT以外の検定は含みません。

日本語条件について

【A～C日程】＊A～C日程からいずれか1日選択できます
(1) 日本留学試験 (EJU)
　対象期間：2023年6月/11月/2024年6月のいずれか
　取得得点：「日本語」の【読解 + 聴解・聴読解(各200点、合計400点)】220点以上 (記述問題の得点は含まない)
(2) 日本語能力試験(JLPT)
　対象期間：2022年12月/2023年7月/12月/2024年7月のいずれか
　取得レベル：N2以上合格

【D日程】＊D日程のみ
・上記(1) (2) 以外または受験していない(受験する予定)
・日本の高等学校もしくは中等教育学校卒業(見込)者※
※エントリー資格としては日本語試験を免除されていますが、受験日程の振り分けはあくまでも受験会場調整のためのものであるため、上記フローと同様の対応にします。

外国人留学生
体験授業型入試　Ⅰ期・Ⅱ期
授業内容・評価ポイント・持参物

美術工芸学科　日本画コース

体験授業内容

Ⅰ期　描く楽しさを通して、ものの見方を発見しよう！

デッサンをする際に一番大切なことは、ものをしっかり観察して描くことです。ものを見るということが、デッサンそのものなのです。描く時間よりも見る時間を増やしてみると、新たに見えてくるものがあります。ものの見方が変われば、デッサンもより楽しくなっていきます！この体験授業では、モチーフを見ることの奥深さを知り、そこで発見したことを描きながらデッサンの本当の面白さを体感します。

評価ポイント
1）デッサンを通して、自分の考えを伝えることができるか
2）モチーフを捉える力があるか
3）作品のねらい、意図が的確に表現できているか

体験授業と合わせて実施する選考

体験授業で制作した作品を見ながら個人面談を行います。

評価ポイント
1）質問に対して明確に述べることができるか
2）作品のねらい、意図を述べることができるか
3）向上心と探究心があるか

Ⅱ期　色彩から始める絵があってもいい！色を使って描こう！

大学が用意したモチーフと自分が学内で探して見つけたモチーフを組み合わせ、色を使って作品を制作します。モチーフを探す際には、色を意識して探してみましょう。そして、なぜこのモチーフを選んだのか、工夫したことは何かなど目的やねらいをしっかり確認しながら描きましょう。水彩絵具や色鉛筆などの色材は大学で用意しますので、描画材を持っていない方や経験が浅い方も心配せずに挑戦してみてください。もちろん、自分のこだわりの画材を使っても構いません。みなさんの色の世界を見せてください！

評価ポイント
1）作品を通して、自分の考えを伝えることができるか
2）モチーフを捉える力があるか
3）作品のねらい・意図が的確に表現できているか
4）色彩表現が豊かであるか

体験授業と合わせて実施する選考

体験授業で制作した作品を見ながら個人面談を行います。

評価ポイント
1）質問に対して明確に述べることができるか
2）作品のねらい、意図を述べることができるか
3）向上心と探究心があるか

持参物・服装

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、デッサン用具一式（例：鉛筆［6H ～ 6B］、カッターナイフ、ねり消しなど）

服装　汚れてもよい服装
※試験教室は土足厳禁のため、靴下や上履きを持参すること

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、着彩道具一式（水彩絵具、色鉛筆など）※着彩道具は大学でも準備します。

服装　汚れてもよい服装
※試験教室は土足厳禁のため、靴下や上履きを持参すること

美術工芸学科　油画コース

体験授業内容

Ⅰ期　挑戦したい描画材で自画像を描こう

自画像は多くの画家が取り組んできたモチーフです。鏡に写った自分と向き合い、改めて観察し、感じたことをどのようにすれば相手に伝えられるのか。下絵で構図を検討した後、油彩、アクリル、デッサンから自分の挑戦したい描画材を選択して描きます。制作ポイントも授業で伝えますので、経験が浅くても心配ありません。講評会では、今後の課題を考えるきっかけを得ることもできます。まずは失敗を恐れずに描いてみましょう。

評価ポイント
1) 観察をもとに描写できているか
2) 視点や表現に工夫ができているか
3) 主体的に制作に取り組めているか
4) 継続的に試行錯誤できているか

体験授業と合わせて実施する選考

制作中の作品を持ち寄りグループで面談を行います。

評価ポイント
1) 質問に対して適切に応答できるか
2) 制作中の作品について問題意識を持ち客観的に述べられるか
3) ひらかれた好奇心を持ち主体的に考えることができているか

Ⅱ期　挑戦したい描画材で静物を描こう

静物をモチーフに、観察しながら感じたこと・気付いたことを表現します。構図とかたち、トーンのバランスを探りながら気付きや感動を絵にしてみましょう。油彩、アクリル、デッサンから挑戦したい描画材を選択して描きます。トリミングや制作のポイントも授業で伝えますので、経験が浅くても心配ありません。講評会では、みなさん全員の表現の工夫や今後の課題を共有します。絵を描くこと、学ぶことの楽しさを体験しましょう。

評価ポイント
1) 観察をもとに描写できているか
2) 視点や表現に工夫ができているか
3) 主体的に制作に取り組めているか
4) 継続的に試行錯誤できているか

体験授業と合わせて実施する選考

制作中の作品を持ち寄りグループで面談を行います。

評価ポイント
1) 質問に対して適切に応答できるか
2) 制作中の作品について問題意識を持ち客観的に述べられるか
3) ひらかれた好奇心を持ち主体的に考えることができているか

持参物・服装

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）
油彩の場合　｜油彩用具一式
アクリルの場合｜アクリル用具一式
鉛筆デッサン・木炭デッサンの場合｜デッサン用具一式（鉛筆または木炭（併用も可）、練り消しゴムなど）

以下の用具は大学で準備します。
油彩・アクリル｜キャンバス
鉛筆デッサン　｜画用紙、カルトン、目玉クリップ
木炭デッサン　｜MBM木炭紙、下敷き用紙、カルトン、目玉クリップ

※エントリー時に支持体を選択してください。□キャンバス（油彩またはアクリル）　□画用紙（鉛筆デッサン）　□MBM木炭紙（木炭デッサン）

服装　汚れてもよい服装

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）
油彩の場合　｜油彩用具一式
アクリルの場合｜アクリル用具一式
鉛筆デッサン・木炭デッサンの場合｜デッサン用具一式（鉛筆または木炭（併用も可）、練り消しゴムなど）

以下の用具は大学で準備します。
油彩・アクリル｜キャンバス
鉛筆デッサン　｜画用紙、カルトン、目玉クリップ
木炭デッサン　｜MBM木炭紙、下敷き用紙、カルトン、目玉クリップ

※エントリー時に支持体を選択してください。　□キャンバス（油彩またはアクリル）　□画用紙（鉛筆デッサン）　□MBM木炭紙（木炭デッサン）

服装　汚れてもよい服装

美術工芸学科　写真・映像コース

体験授業内容

Ⅰ期　編集による表現 - 部分と全体について考える

写真と映像表現に共通するのは、バラバラのイメージ同士が連なって関係する姿です。写真を1枚で見るのと複数の連なりで見るのでは鑑賞者が受け取る印象が大きく異なります。普段どのように写真や映像を見ているのかを考えながら、イメージを連ねるグループワークを行い、受験生同士が対話を重ね、イメージの組み合わせの中で起こる意味や形の変化について考えます。最終的には一人ずつの制作も行い、1日の中での気づきを文章にし、今後の制作に繋がる力を養います。

評価ポイント
1) 複数のイメージを組み合わせて、
　新たな造形や意味を作り出すことができる
2) 他者と協働し、自分以外の視点について気づくことができる
3) 基本的な文章力があり、構造的な文章の組み立てができる

体験授業と合わせて実施する選考

人物や個性、本コースで学び成長することができるかを評価する面談を行います。自分自身の言葉で語ってください。

評価ポイント
1) 質問を的確に理解し、対話ができる力
2) 考えや思いを自分の言葉で伝える力
3) 大学での学びに対しての意欲

Ⅱ期　コラージュ - 切断と接合について考える

私達は日々、写真や映像表現に接しています。何気なく接しているそれらのイメージは、場面の切り取りと繋がりによって表現されていることが殆どです。この授業では個々がコラージュ制作を行った後、グループに分かれて成果物を前に対話を重ねます。コラージュによるイメージの切断と接合がどのように起こり、写されたモチーフの意味や形の印象がどのように変化していくのか、他者とともに考え、自分以外の視点についても深く考える機会とします。最終的には1日の中での気づきを文章にし、今後の制作に繋がる力を養います。

評価ポイント
1) 複数のイメージを組み合わせて、
　新たな造形や意味を作り出すことができる
2) 他者と協働し、自分以外の視点について気づくことができる
3) 基本的な文章力があり、構造的な文章の組み立てができる

体験授業と合わせて実施する選考

人物や個性、本コースで学び成長することができるかを評価する面談を行います。自分自身の言葉で語ってください。

評価ポイント
1) 質問を的確に理解し、対話ができる力
2) 考えや思いを自分の言葉で伝える力
3) 大学での学びに対しての意欲

持参物

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、メモ帳

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、メモ帳

美術工芸学科　染織テキスタイルコース

体験授業内容

Ⅰ期　色と形に触れる型友禅染め体験

染めや織りの技法を使ったさまざまな表現には、必ず素材や技法のこだわりが含まれています。今回はたくさんの色で布に模様を染める日本の代表的な染色法「型友禅」を体験します。実際に、型紙や刷毛など、染色ならではの道具を使い、型紙を繰り返し用いて作り出す色と模様の世界を楽しみましょう。友禅の歴史、素材、技法、染料についてのミニ講座も行います。入学後の授業がイメージできる内容です。

評価ポイント
1) 作業全体の工程や、技法における決まりごとを理解し作業できるか
2) 出来上がりをイメージして手を動かし、
　表現するための試行錯誤ができるか
3) 技法において重要な道具の準備や作業場の片付けに
　能動的に取り組むことができるか
4) 全体を通して積極的に取り組み、適切な質疑応答ができるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員との面談を通して制作や自身について対話をします。

評価ポイント
1) 質問を理解し、自分の言葉で対話できるか
2) 大学での学びや制作に対し主体的な姿勢であるか
3) 制作プロセスへの興味、探究心があるか

Ⅱ期　ハンドフックマシーンを使った小さなタペストリー制作

染めや織りの技法を使ったさまざまな表現には、必ず素材や技法のこだわりが含まれています。今回はハンドフックマシーンを使って小さなタペストリー制作を行います。各自でまずデザインを考え、大学で準備した羊毛を組み合わせ、それぞれの作品を作ってみましょう。知識や技術を身につけると同時に、柔軟に考える力も育てる本コースの学びを体験することができます。

評価ポイント
1) 作業全体の工程や、技法における決まりごとを理解し作業できるか
2) 出来上がりをイメージして手を動かし、
　表現するための試行錯誤ができるか
3) 技法において重要な道具の準備や作業場の片付けに
　能動的に取り組むことができるか
4) 全体を通して積極的に取り組み、適切な質疑応答ができるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員との面談を通して制作や自身について対話をします。

評価ポイント
1) 質問を理解し、自分の言葉で対話できるか
2) 大学での学びや制作に対し主体的な姿勢であるか
3) 制作プロセスへの興味、探究心があるか

持参物・服装

筆記用具(描画用鉛筆、消しゴムなど)、色鉛筆、直線定規

服装　汚れてもよい服装、
スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

筆記用具(描画用鉛筆、消しゴムなど)、ハサミ、色鉛筆、30cm程度の直線定規

服装　動きやすい服装

美術工芸学科　総合造形コース

体験授業内容

Ⅰ期　あなたのイメージしたストーリーからオブジェクトを制作しよう！

例えばこの場所にこんなものがあって、こんなことが起こったら…など、さまざまな想像を膨らませたことはあるでしょうか。この授業では、いくつかのキーワードからイメージを拡げ、オブジェクトを粘土と針金によって造形します。みなさん一人ひとりが想像する設定、背景、作品の世界観などを深く張り巡らせ、創造してみましょう。また、自分の想いを人へ伝えるためには、展示方法やプレゼンテーションにも工夫が必要です。この授業では、発想・構想する力、それを踏まえてかたちづくる力、他者へ伝える力を総合的に養います。

評価ポイント
1) 自分の考えのもとに前向きに取り組んでいるか
2) 視点や表現に工夫ができているか
3) 制作物を他者に伝える姿勢があるか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント
1) 自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか
2) 質問を理解し応答ができているか
3) 大学での学びに対して積極的な姿勢を持っているか

Ⅱ期　自分の顔を知ろう！彫塑によるレリーフ制作

自分の顔ってどんな顔？見ているようで見ていない自分の顔を、レリーフ(半立体)で制作します。まずは写真や鏡に映った姿から観察し、平面だけでは理解できない特徴を知るために、自らの手で何度も自分の顔を触ってみます。写真や鏡からだけでは感じることのできない凸凹を粘土で再現してみましょう。顔の基本的な造形要素を学びながら、客観的な目線で制作に挑戦してみてください。きっと今まで気付かなかったことが発見できます。

評価ポイント
1) 授業内容を正しく理解し実行することができるか
2) 観察をもとに積極的に制作へ取り組んでいるか
3) 自身の考えをもとにディテールや粘土の肉付けがされているか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント
1) 自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか
2) 質問を理解し応答ができているか
3) 大学での学びに対して積極的な姿勢を持っているか

持参物・服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、ノート、粘土ベラ一式、汚れても良いタオル、ペンチ(2本必要です)

服装　汚れてもよい、動きやすい服装、
スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダル不可)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、ノート、粘土ベラ一式、デッサン用筆記具(鉛筆各種H ～ 3B程度)、汚れてもよいタオル

服装　汚れてもよい、動きやすい服装、
スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダル不可)

美術工芸学科　アートプロデュースコース

体験授業内容

Ⅰ期　アートプロデュース入門①　はじめての企画づくり

芸術を社会に広め、社会を芸術の力で変えていくアートプロデュース。この授業では、「アートの力」を活用して社会の中に様々な意味や価値を生み出していく企画づくりを体験します。先生たちからアートプロデュースの考え方を学び、他の受験生とのグループワークを通してアートプロデュースを行っていくために必要な力を身につけます。個人的な楽しみにとどまらない「アートの力」を意識できるようになりましょう。

評価ポイント

1) 現代の社会で起きている事象の基礎知識
2) 根拠に基づき論理的に考える思考力
3) 思考やアイデアを的確に他者に伝える言語能力・表現力
4) 柔軟に他者と協働して問題に取り組むコミュニケーション能力

体験授業と合わせて実施する選考

グループワークを踏まえた個人レポートを作成します。

評価ポイント

1) 授業を通じて社会や芸術における
　アートプロデュースの必要性を認識する理解力
2) 授業の経験から自身の課題を含め、
　気づきや学びを取り出すことができる学習力

Ⅱ期　アートプロデュース入門②　なんのための企画？

芸術を社会に広め、社会を芸術の力で変えていくアートプロデュース。この授業では、「アートの力」を活用して社会の中に様々な意味や価値を生み出していく企画づくりを体験します。先生たちからアートプロデュースの考え方を学び、他の受験生とのグループワークを通してアートプロデュースを行っていくために必要な力を身につけます。個人的な楽しみにとどまらない「アートの力」を意識できるようになりましょう。

評価ポイント

1) 現代の社会で起きている事象の基礎知識
2) 根拠に基づき論理的に考える思考力
3) 思考やアイデアを的確に他者に伝える言語能力・表現力
4) 柔軟に他者と協働して問題に取り組むコミュニケーション能力

体験授業と合わせて実施する選考

グループワークを踏まえた個人レポートを作成します。

評価ポイント

1) 授業を通じて社会や芸術における
　アートプロデュースの必要性を認識する理解力
2) 授業の経験から自身の課題を含め、
　気づきや学びを取り出すことができる学習力

持参物

Ⅰ期　筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）

Ⅱ期　筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）

美術工芸学科　文化財保存修復・歴史遺産コース

体験授業内容

Ⅰ期　京都は文化芸術の宝庫！実際に街を歩いて探そう

京都には、絵画や仏像、建築や庭園、祭礼行事など様々な文化財があります。これらは千年にわたる文化芸術の歴史を物語る貴重な存在であり、大切に維持され現代の私たちまで伝えられた大切な歴史遺産です。市内を歩いて廻ると実に様々な文化財と巡り合うことができます。体験授業では、文化財についてのミニ講義を受けた後、実際に市内を巡ります。街歩きをしながら文化財を見て、次世代に守り伝えるための歴史遺産についてディスカッションし、グループ発表を行います。

評価ポイント

1) ミニ講義の内容を理解しているか
2) 実際の文化財を見て、その特徴や魅力をつかむ観察力があるか
3) 観察し、感じ、考えたことについて、グループで
　コミュニケーションをとり協同して工夫し、表現する力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

ミニ講義を聞き文章でまとめるレポートと、
グループ発表に関するレポートの２種類があります。

評価ポイント

1) ミニ講義レポートでは、講義の内容を理解し、
　的確な文章で要約することができるか
2) グループ発表レポートでは、実際の文化財を見学して
　観察したことを記述することができるか
3) グループディスカッションで果たした役割などを振り返り、
　今後自身が成長するための課題を見出すことができるか

Ⅱ期　京都は文化芸術の宝庫！実際に寺院を訪れて探そう

京都には神社やお寺、博物館・美術館が多く所在しており、多くの文化財が守り伝えられています。体験授業では、まず歴史遺産や文化財保護についてミニ講義を受講します。その後、400年以上の歴史を持つお寺を実際に訪ね、絵画や仏像、建築や庭園など様々な文化財を見学します。そして、見学した文化財の特徴や価値について考え、グループディスカッションと発表、レポート作成を行います。

評価ポイント

1) ミニ講義の内容を理解しているか
2) 実際の文化財を見て、その特徴や魅力をつかむ観察力があるか
3) 観察し、感じ、考えたことについて、グループで
　コミュニケーションをとり協同して工夫し、表現する力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

ミニ講義を聞き文章でまとめるレポートと、
グループ発表に関するレポートの２種類があります。

評価ポイント

1) ミニ講義レポートでは、講義の内容を理解し、
　的確な文章で要約することができるか
2) グループ発表レポートでは、実際の文化財を見学して
　観察したことを記述することができるか
3) グループディスカッションで果たした役割などを振り返り、
　今後自身が成長するための課題を見出すことができるか

持参物・服装

Ⅰ期　筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）
筆記用具として必ず鉛筆を持参してください。

服装　汚れても良い動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダル不可）、熱中症対策のための帽子やタオル

Ⅱ期　筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）
筆記用具として必ず鉛筆を持参してください。

服装　汚れても良い動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダル不可）

キャラクターデザイン学科　キャラクターデザインコース

体験授業内容

Ⅰ期　世界を彩る魅力的なキャラクターをデザインしよう

何気ない生活の中には無数のキャラクターが隠れています。身の回りを注意深く観察し、感性に引っかかるモノコトからアイデアを発見し深く思考します。そこから多様なキャラクターを生み出し発信することで、私たちの世界を楽しく彩りましょう。この授業では、あなた独自の視点で世界を捉え、グループワークや教員からのアドバイスを通して伝えたいテーマを深め、世界の中で生き生きと躍動するキャラクターのビジュアルを創作していきます。

評価ポイント

自分だけのテーマを掘り下げる思考力、キャラクターデザインとしてビジュアル化する発想力と表現力を評価します。
また対話を通して、社会の様々なことに興味・関心を抱き自発的に思考する姿勢を評価します。

体験授業と合わせて実施する選考

テーマを掘り下げる過程をテキストでまとめ、そこからキャラクターのビジュアルに置き換えて表現します。

評価ポイント

1) 課題に対し、独自の視点で捉えることができているか
2) テーマを的確に伝えるべきキャラクターが描けているか
3) 構図や色彩など、絵として美しく完成しているか

Ⅱ期　モチーフから発想して オリジナルのキャラクターイラストを描こう

好きなアニメやゲームのキャラクターを模写したり二次創作することも楽しいですが、もっとみなさんのアイデア溢れるオリジナルのキャラクターをつくりたいと思いませんか？この授業では、キーワードから発想を広げて、魅力的なキャラクターを生み出します。そのキャラクターは、どんな世界で何を考え、何をしているのでしょうか？キャラクターを通してあなたが伝えたいことを、表現できる楽しさを体感しましょう！

評価ポイント

自分だけのテーマを掘り下げる思考力、キャラクターデザインとしてビジュアル化する発想力と表現力を評価します。
また対話を通して、社会の様々なことに興味・関心を抱き自発的に思考する姿勢を評価します。

体験授業と合わせて実施する選考

テーマを掘り下げる過程をテキストでまとめ、そこからキャラクターのビジュアルに置き換えて表現します。

評価ポイント

1) 課題に対し、独自の視点で捉えることができているか
2) テーマを的確に伝えるべきキャラクターが描けているか
3) 構図や色彩など、絵として美しく完成しているか

持参物

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、着彩道具一式（画材は自由）

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、着彩用具一式（画材は自由）

キャラクターデザイン学科　マンガコース

体験授業内容

Ⅰ期　マンガなら描けるキミだけの世界！ 好きから生まれる物語を創ろう

何気なく書いた落書きにも、みなさんの「好き」が隠れています。それってすごく価値があるものだと思いませんか？プロのマンガ家である教員の指導のもと、みなさんの「好き」からグループワークを通して、オリジナルの物語を考え、その中のワンシーンをマンガもしくはイラストで表現してください。企画構成・プロットから、コマ割り・作画など本格的なマンガ制作の工程を体験してみましょう！

評価ポイント

まずはリラックスして、授業を楽しんでください！授業や面談を通して、みなさんが普段何を考えているのか、グループワークでの意見を上手に取り入れてアイデアを生み出せているかなど、みなさんの好奇心や成長への意欲を重視します。

体験授業と合わせて実施する選考

オリジナルの物語を考えて「あらすじ」の文章を制作。物語のワンシーンをマンガかイラストのいずれかで表現してもらいます。

評価ポイント

1) 講義やグループワークを通して自分らしい物語をつくれているか
2) 人に伝える工夫や気遣いができているか
3) 見る人を惹きつける絵が描けているか

Ⅱ期　いつでもどこでもできる！ 毎日が楽しくなるネタ集めの実践法

通学途中や休日の街中など、マンガのネタとなるものは至るところに溢れています。観察の方法を覚えることで、見える世界が変わります。レクチャーを受けた後、マンガのネタを集めるために学内を散策し、スケッチを行います。そこで見たことや感じたことをグループで共有し、得られた気づきをマンガもしくはイラストで表現してください。独創的な発想も、まずは観察から。マンガのネタを掴む極意を会得しましょう！

評価ポイント

まずはリラックスして、授業を楽しんでください！授業や面談を通して、みなさんが普段何を考えているのか、グループワークでの意見を上手に取り入れてアイデアを生み出せているかなど、みなさんの好奇心や成長への意欲を重視します。

体験授業と合わせて実施する選考

オリジナルの物語を考えて「あらすじ」の文章を制作。物語のワンシーンをマンガかイラストのいずれかで表現してもらいます。

評価ポイント

1) 講義やグループワークを通して自分らしい物語をつくれているか
2) 人に伝える工夫や気遣いができているか
3) 見る人を惹きつける絵が描けているか

持参物

筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど）、定規、使い慣れた画材（インク、マジック、サインペン、墨などモノトーンであれば自由）、腕時計
※上記以外の使用可能用具：カルトン、国語辞典、通信機能のない電子辞書
※使用不可の用具：スクリーントーン、カメラ、携帯電話

筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど）、定規、使い慣れた画材（インク、マジック、サインペン、墨などモノトーンであれば自由）、腕時計
※上記以外の使用可能用具：カルトン、国語辞典、通信機能のない電子辞書
※使用不可の用具：スクリーントーン、カメラ、携帯電話

情報デザイン学科　ビジュアルデザインコース
イラストレーションコース
ゲームクリエイションコース
映像クリエイションコース

※情報デザイン学科は、4コース共通で体験授業を行います。情報デザイン学科内でのコース併願を希望する場合は、1日の授業で最大4コースまで併願可能です。

体験授業内容

Ⅰ期　カップラーメンをよりおいしくする3分間の企画・デザイン

カップラーメンにお湯を注いで出来上がるまでの“3分間の待ち時間”をいかに楽しく充実した時間として過ごしてもらうのか。この授業では、これまでになかった視点や発想を持って、創造的な時間にするための企画またはデザインを考えます。待っている状況を想定し、映像やゲーム、パッケージやグラフィックなどの要素を活用し、その場で体験できる魅力的な企画やデザインにチャレンジしてみましょう！

評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

1) 授業を受ける姿勢
　意欲的かつ真摯に取り組み、教員や他者と共感をもって
　コミュニケーションをとることができているか
2) 発想・構想力
　柔軟な発想力と論理的な思考力でアイデアを展開できているか
3) 理解力
　課題内容を理解した上で、企画やデザインのテーマや
　ストーリーを見出すことができているか

体験授業と合わせて実施する選考

絵や図、文章でプレゼンテーションする企画・デザインのワークシートと自己PRシートに取り組んでもらいます。

評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

1) 企画
　流行・社会の動きに興味を持ち、独創的な着眼点で
　アイデアを企画に展開できているか
2) 構想
　企画や思考を具体的かつ論理的に構成させる力があるか
3) 表現
　視覚化や文章化により、わかりやすく魅力的に
　プレゼンテーションできているか

Ⅱ期　睡眠をより豊かにする企画・デザイン

この授業では、睡眠に関連する要素を考察しながら、これまでになかった視点や発想を持って、快適な睡眠環境を提供するための企画またはデザインを考えます。睡眠環境の改善や質の向上を目的としたアプリやデバイス、映像、寝具などのアイテムやグッズのデザインなど、リラックス効果や新しい体験が得られるような魅力的な企画やデザインにチャレンジしてみましょう！

評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

1) 授業を受ける姿勢
　意欲的かつ真摯に取り組み、教員や他者と共感をもって
　コミュニケーションをとることができているか
2) 発想・構想力
　柔軟な発想力と論理的な思考力でアイデアを展開できているか
3) 理解力
　課題内容を理解した上で、企画やデザインのテーマや
　ストーリーを見出すことができているか

体験授業と合わせて実施する選考

絵や図、文章でプレゼンテーションする企画・デザインのワークシートと自己PRシートに取り組んでもらいます。

評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

1) 企画
　流行・社会の動きに興味を持ち、独創的な着眼点で
　アイデアを企画に展開できているか
2) 構想
　企画や思考を具体的かつ論理的に構成させる力があるか
3) 表現
　視覚化や文章化により、わかりやすく魅力的に
　プレゼンテーションできているか

持参物・服装

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、メモ帳、使い慣れた描画用具一式
※使用不可の用具：油絵具やスプレー塗料など匂いの強い画材、デジタル機器

服装　汚れてもよい服装

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、メモ帳、使い慣れた描画用具一式
※使用不可の用具：油絵具やスプレー塗料など匂いの強い画材、デジタル機器

服装　汚れてもよい服装

プロダクトデザイン学科　プロダクトデザインコース

体験授業内容

Ⅰ期　くらしを豊かにする 身近な生活の道具をデザインしてみよう！

ステーショナリーやキッチンウエア、IoT機器など身近な道具はどの様にデザインされているのでしょうか？プロのデザイナーの仕事や考え方を学んでみましょう！デザインには、アイデアの発想の方法、カタチの展開の方法などさまざまなスキルやメソッドを使います。今回の体験授業では、それらを学びながらグループでリサーチやアイデアの検討を行い、個人でスケッチやモデルの制作をしながら、あなたのオリジナルのデザインを考えましょう。

評価ポイント

1）表現・コミュニケーション力（行動力）：
　自分の考えを他者に伝わるよう自分なりに表現できているか
2）発想・構想力：リサーチ結果や他者との
　コミュニケーションを通してアイデアを多く展開できているか
3）観察力（探究心）：リサーチを幅広く行うと共に、
　様々な視点で物事を見て論理的に分析できているか

体験授業と合わせて実施する選考

プロセスを通してワークシートを順に制作して、
最後にモデルと一緒にプレゼンテーションを行います。

評価ポイント

体験授業を通して、プロセスをワークシートにまとめていきます。
制作したモデルのプレゼンテーションや面談、
ワークシートを総合的に判断し評価を行います。

Ⅱ期　生活を豊かにする 身近な日用雑貨をデザインしてみよう！

我々の身の回りにある文房具や家電、キッチン用品、自動車などの製品はプロダクトデザイナーがデザインしています。プロのデザイナーの仕事や考え方を学んでみましょう！デザインには、アイデアの発想の方法、カタチの展開の方法などさまざまなスキルやメソッドを使います。今回の体験授業では、それらを学びながらグループでリサーチやアイデアの検討を行い、個人でスケッチやモデルの制作をしながら、あなたのオリジナルなデザインを考えましょう。

評価ポイント

1）表現・コミュニケーション力（行動力）：
　自分の考えを他者に伝わるよう自分なりに表現できているか
2）発想・構想力：リサーチ結果や他者との
　コミュニケーションを通してアイデアを多く展開できているか
3）観察力（探究心）：リサーチを幅広く行うと共に、
　様々な視点で物事を見て論理的に分析できているか

体験授業と合わせて実施する選考

プロセスを通してワークシートを順に制作して、
最後にモデルと一緒にプレゼンテーションを行います。

評価ポイント

体験授業を通して、プロセスをワークシートにまとめていきます。
制作したモデルのプレゼンテーションや面談、
ワークシートを総合的に判断し評価を行います。

持参物

筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど）、黒色の太めのマジックペンまたはサインペン、色鉛筆（12～24色程度）、鉛筆けずり、カッター、はさみ、のり、コンパス、三角定規（30cm程度）、定規（30cm程度、カッターでの切断時にも使用）

プロダクトデザイン学科　クロステックデザインコース

体験授業内容

Ⅰ期　〇〇のための「フェスティバル」の企画・デザイン

クロステックデザインコースの「クリエイティブ（企画やデザインの力で）」×「テクノロジー（新旧の技術を組み合わせて）」×「ビジネス（どのようにお金を生み出して持続可能な仕組みを作るか）」の3つの視点を体感していただく授業を実施します。「フェスティバル」をテーマに人を笑顔にする企画や誰かの課題の解決策を考えます。いつ、どこの地域で、誰を対象に、どのような場面かを具体的に想像し、祭りの楽しみ方や伝え方にも焦点を当て、社会に多様な展開ができる企画やサービスの提案を考えましょう。

評価ポイント

1）授業での学びや気づきを、体系的に整理し分析できているか
2）提案されている内容に、具体性があるか
3）内容の一部にでも、自身の独自の視点や考察が見られるか

体験授業と合わせて実施する選考

提示された課題に対して情報を集め、身のまわりを観察し、
企画を考え発表するグループワークを実施します。

評価ポイント

1）他者（教員や他の受験生）の意見を真摯に受け止め、
　そこから発想を広げることができるか
2）自分の経験や価値観だけではなく、情報を集め、
　多角的な視点をもとに考察することができるか
3）拡散したアイディアを具体的な人や場面を想定して、
　提案としてまとめることができるか

Ⅱ期　〇〇のための「最後の晩餐」の企画・デザイン

クロステックデザインコースの「クリエイティブ（企画やデザインの力で）」×「テクノロジー（新旧の技術を組み合わせて）」×「ビジネス（どのようにお金を生み出して持続可能な仕組みを作るか）」の3つの視点を体感していただく授業を実施します。「食（フード）」をテーマに人を笑顔にする企画や誰かの課題の解決策を考えます。いつ、どこの地域で、誰を対象に、どのような場面かを具体的に想像し、食の楽しみ方や伝え方にも焦点を当て、社会に多様な展開ができる企画やサービスの提案を考えましょう。

評価ポイント

1）授業での学びや気づきを、体系的に整理し分析できているか
2）提案されている内容に、具体性があるか
3）内容の一部にでも、自身の独自の視点や考察が見られるか

体験授業と合わせて実施する選考

提示された課題に対して情報を集め、身のまわりを観察し、
企画を考え発表するグループワークを実施します。

評価ポイント

1）他者（教員や他の受験生）の意見を真摯に受け止め、
　そこから発想を広げることができるか
2）自分の経験や価値観だけではなく、情報を集め、
　多角的な視点をもとに考察することができるか
3）拡散したアイディアを具体的な人や場面を想定して、
　提案としてまとめることができるか

持参物

筆記用具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど）、メモ帳、スマートフォン（情報検索手段として使用）

空間演出デザイン学科　空間デザインコース

体験授業内容

Ⅰ期　ソーシャルデザイン入門① わがまちミュージアム

社会へとつながる自分のデザインを発見するために、つくるだけではなく、レクチャーの後に、考察、作品制作、発表というデザインの基本過程に取り組みます。テーマとするわがまちの魅力を「自分の視点」で発見し、それをミュージアムという小さな空間作品として制作します。普通のこともデザインによって価値のあるものに変えていく考え方と、素敵な体験を空間にしていく手法を学び、まちの魅力をさらに上げていくことを目指します。また、発表を共有し「他者の共感」も得られるようになりましょう。

評価ポイント

1) 授業に意欲的かつ誠実に取り組み、教員や他者と共感をもってコミュニケーションをとることができるか
2) レクチャーの内容を理解し、自分の考察を的確に論じることができるか
3) 課題内容を理解した上で、「自分の視点」からテーマやストーリーをつくることができるか
4) テーマやストーリーを活かし、見る人にまちの魅力がより良く伝わる、工夫ある制作物をつくることができるか
5) 制作物の魅力が他者に伝わるように発表することができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的に評価するために、制作物の評価のみではなく、エントリーシート（自己紹介等）の記入と併せて面談を行います。

評価ポイント

1) 本学科の学修内容に対する理解度と、その学修と成長へ向けた意欲・意志
2) 高等学校等での学習姿勢や成果、課外や自主的な活動などの行動力や主体性
3) 社会や周囲のことを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性
4) 自己主張だけでなく、客観的に説明できるコミュニケーション力

Ⅱ期　ソーシャルデザイン入門② わがまちショップ

社会をより良く変えていくためのデザインの授業です。地域には、人がまだ気づいていない魅力を発見し、うまく活かすためのデザインが必要です。レクチャーの後に、考察文、作品制作、発表というデザインの基本過程に取り組み、「自分の視点」でわがまちの魅力を発見し、それをアピールできるショップを空間作品として制作します。まちの特色を空間で伝えるためのストーリーづくりが、人を感動させ、身近な社会の変化を生む決め手となることを学びます。

評価ポイント

1) 授業に意欲的かつ誠実に取り組み、教員や他者と共感をもってコミュニケーションをとることができるか
2) レクチャーの内容を理解し、自分の考察を的確に論じることができるか
3) 課題内容を理解した上で、「自分の視点」からテーマやストーリーをつくることができるか
4) テーマやストーリーを活かし、見る人にまちの魅力がより良く伝わる、工夫ある制作物をつくることができるか
5) 制作物の魅力が他者に伝わるように発表することができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的に評価するために、制作物の評価のみではなく、エントリーシート（自己紹介等）の記入と併せて面談を行います。

評価ポイント

1) 本学科の学修内容に対する理解度と、その学修と成長へ向けた意欲・意志
2) 高等学校等での学習姿勢や成果、課外や自主的な活動などの行動力や主体性
3) 社会や周囲のことを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性
4) 自己主張だけでなく、客観的に説明できるコミュニケーション力

持参物

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、ノート、太めのマジックペン１色（色は自由）、カッターナイフ、はさみ、金尺（30cm）、のり、マスキングテープ、着彩道具一式

※上記以外の持参可能物：自分の制作で使いたい材料
（色紙や紙粘土など500円まで。持参しなくても制作可能）

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、ノート、太めのマジックペン１色（色は自由）、カッターナイフ、はさみ、金尺（30cm）、のり、マスキングテープ、着彩道具一式

※上記以外の持参可能物：自分の制作で使いたい材料
（色紙や紙粘土など500円まで。持参しなくても制作可能）

空間演出デザイン学科　ファッションデザインコース

体験授業内容

Ⅰ期　ファッションデザイン入門 地域の特性を活かしたファッション①

さまざまな紙を使って、あなたの住んでいる地域を他者にPRするファッションアイテムを制作します。あなたが提案するファッションで、人が生きる環境にどんな変化を起こすことができるかを体験してみましょう。ここで大切なのは、完成した作品のクオリティではなく、その作品の制作に至るまでのプロセスと着眼点、そのモノは社会にどんな変化を起こすことができるのかということです。

評価ポイント

1) 制作の際に自分の考えたことだけではなく、教員のアドバイスを柔軟に取り入れ、積み上げて考えることができるか
2) リサーチした内容から適切な地域課題を見つけ、制作にうまく活用できるか
3) 自分の考えを他者にも理解される形でプレゼンテーションできるか
4) 自分の考えを的確に文章にまとめることができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的にみるために制作物だけでなく、
エントリーシート（自己紹介等）の記入と併せて面談を実施します。

評価ポイント

1) 本学科の学修内容を理解し、志望動機を明確に説明できるか
2) これまでの学習姿勢や成果、行動力や主体性を持った活動などの説明ができるか
3) 本学科で学んだ先にある将来の目標を説明できるか
4) 社会や周囲のことなどを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性があるか

Ⅱ期　ファッションデザイン入門 地域の特性を活かしたファッション②

自分が毎日過ごす場所はいつも見ている分、何もなさそうに感じてしまいます。しかし、よく見直してみると必ず魅力になる部分があります。その魅力を起点として、さまざまな紙を素材としたファッションアイテムとして再構築してみましょう。アイデアによって地域社会がどのように変わっていくかを教員との対話から想像していきます。制作を通してファッション領域の幅広さを感じてください。

評価ポイント

1) 制作の際に自分の考えたことだけではなく、教員のアドバイスを柔軟に取り入れ、積み上げて考えることができるか
2) リサーチした内容から適切な地域課題を見つけ、制作にうまく活用できるか
3) 自分の考えを他者にも理解される形でプレゼンテーションできるか
4) 自分の考えを的確に文章にまとめることができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的にみるために制作物だけでなく、
エントリーシート（自己紹介等）の記入と併せて面談を実施します。

評価ポイント

1) 本学科の学修内容を理解し、志望動機を明確に説明できるか
2) これまでの学習姿勢や成果、行動力や主体性を持った活動などの説明ができるか
3) 本学科で学んだ先にある将来の目標を説明できるか
4) 社会や周囲のことなどを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性があるか

持参物

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、カッターナイフ、はさみ、定規、のりやテープなど接着できるもの、ホッチキス、着彩道具一式、自分の身の回りにある紙（新聞紙、コピー紙、わら半紙、チラシ、紙袋、包装紙など。
※紙は制作に使用しますので、自分の制作に必要だと思う紙を持参してください。）

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、カッターナイフ、はさみ、定規、のりやテープなど接着できるもの、ホッチキス、着彩道具一式、自分の身の回りにある紙（新聞紙、コピー紙、わら半紙、チラシ、紙袋、包装紙など。
※紙は制作に使用しますので、自分の制作に必要だと思う紙を持参してください。）

環境デザイン学科　建築・インテリア・環境デザインコース

体験授業内容

Ⅰ期　あたりのカタチ

環境はさまざまな大きさ小ささから成り立っています。自然物を収集し、そのスケール（縮尺）や属性を自由に見立て、そのモノの周辺空間と人との関係を与えられた素材で表現します。難しく感じるかも知れませんが、さまざまな縮尺の人型模型も使いますので、自分がその人型の大きさになって想像すればさまざまなことを思い描くことができます。まちや都市の公園から、家具やギャラリー空間まで、スケールを横断するみなさんの想像力および三次元的な空間構成力に期待します。冒頭に行うスケールに関するレクチャーのミニレポートも、作成してもらいます。

評価ポイント

1) 与えられた条件を把握し、手を動かしながら考え、空間に展開しようとしているか
2) 助言を受入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか
3) 基礎的なコミュニケーション能力と表現力があるか
4) ミニレポートにおいて言語力、思考力、聴く力、まとめる力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

制作に関する面談と、みなさん自身に関する面談の2種類を実施します。

評価ポイント

1) 質問に対して的確に自身の考えをまとめて話すことができるか
2) コミュニケーションを双方向的に行うことができるか
3) 制作時の面談では、助言を受入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか

Ⅱ期　ひかりのカタチ

環境に表情を与えるのは光です。今回の授業では、光がつくる線や面、光と影、反射や透過など、光の効果を魅せるカタチを制作します。与えられた素材で、自分なりの表現に挑戦してください。素材の特性や可能性を引き出すこと、またスケール感覚は設計の重要なポイントです。この光でシーンがどう良くなるか考えつつ、試行錯誤を楽しみながら制作してみてください。冒頭に行う光に関するレクチャーのミニレポートも、作成してもらいます。

評価ポイント

1) 与えられた条件を把握し、手を動かしながら考え、空間に展開しようとしているか
2) 助言を受入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか
3) 基礎的なコミュニケーション能力と表現力があるか
4) ミニレポートにおいて言語力、思考力、聴く力、まとめる力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

制作に関する面談と、みなさん自身に関する面談の2種類を実施します。

評価ポイント

1) 質問に対して的確に自身の考えをまとめて話すことができるか
2) コミュニケーションを双方向的に行うことができるか
3) 制作時の面談では、助言を受入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか

持参物・服装

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、はさみ、カッターナイフ ※使用不可の用具：着彩用具一式（色鉛筆、マーカー、絵の具など）

服装　動きやすい服装、
スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダルは不可）

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、はさみ、カッターナイフ ※使用不可の用具：着彩用具一式（色鉛筆、マーカー、絵の具など）

映画学科　映画製作コース

体験授業内容

Ⅰ期　短篇映画製作体験『見つめる　耳をそばだてる』

会場内をグループに分かれて隈なく歩き（ロケハン）、各自が発見した気になる何か（見つめたり、耳をそばだてたくなるもの）を決め、レクチャーを受けた機材を使って撮影し、一本の短編映画を製作します。完成後は、作品を上映し、感想や意見交換を行い、体験授業と他者との作業で感じたことや発見したことをレポートにまとめます。教員が総出でみなさんをサポートしますので、初めての方もぜひ挑戦してみてください。

評価ポイント

1）カメラやマイクを通して、世界を見つめたり、
　耳をそばだてたりする観察力
2）世界でなにを良いと感じるのか、
　自分なりの思考力、発想・構想力を持っているか
3）他者との作業に必要な相手への想像力、
　お互いの意思を伝え合うコミュニケーション能力

体験授業と合わせて実施する選考

映画製作体験から感じたこと、発見したことをレポートにまとめます。

評価ポイント

1）体験授業を受けて感じたこと、考えたことを振り返ることができるか
2）映画の基本である「観察すること」をどう捉えたか
3）自分の中で論理を組み立て、文章として表現できるか

Ⅱ期　映画を観よう『映画のおもしろさを見つける。魅力を伝える』

映画を鑑賞し、分析します。「作品の面白さはどこにあるのか」「作品の魅力」「作品を構成する諸要素（お話、人物、カメラなど）」を言葉にして「どんな人に観てもらいたいか」「どう魅力を伝えるか」を意識してワークシート（「分析シート」と「伝えたい魅力」の２枚）にまとめます。映画作品の「面白かった部分」と「誰に見せたいか」「どう魅力を伝えるか」を、受験生同士で意見交換した上で、各々が発表します。

評価ポイント

1）映画作品とその魅力を意欲的にとらえ鑑賞できる
　感受性・ワークシートにより作品を捉える分析力
2）人と意見交換できるコミュニケーション力、
　発表に向かう、積極性や集中力
3）映画作品の魅力を「どんな人たちに、どう伝えたいか」、
　自らまとめ、伝えるときの発想力・構想力・表現力

体験授業と合わせて実施する選考

「分析シート」で「客観的な映画の構造」などを、「伝えたい魅力シート」で「自分が感じた面白さ」を、言葉にします。

評価ポイント

1）「映画の構造」を客観的に捉え言葉にすることができるか
2）自分が感じた主観的な「映画の面白さ」を
　人に伝わる言葉にすることができるか

持参物・服装

Ⅰ期：筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、メモ帳、ノート、飲み物（炎天下に出ることも考えられます）

服装　動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダル不可）、帽子などの日除け（炎天下に出ることも考えられます）

Ⅱ期：筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、ノート

映画学科　俳優コース

体験授業内容

Ⅰ期　俳優体験　脚本を読んで創造『言葉から人間を作り上げよう』

はじめに、簡単なセリフが書かれた脚本（人物の背景、具体的な行動などには自由な解釈の余地がある）を読みます。そして、各々が人物のことを想像し、受験生同士で話し合い、演技を創造、発表します。発表後は、撮影したものを見て互いに意見交換します。その後、体験授業の経験について各々レポートにまとめ、提出します。（体験授業型入試はオーディションではなく授業です。今の演技力よりも、授業に取り組む意欲、その日の成長を評価します）

評価ポイント

1）セリフの背景を想像する力、演技を創造する力
2）創造した人間を、声や表情、身体すべてを使って現出させる表現力
3）人と話し合い、また協力し合い共同作業ができるコミュニケーション力

体験授業と合わせて実施する選考

一日の経験と学びをレポートにまとめます。

評価ポイント

脚本の読解と解釈、そして演技を創造する過程で得た学びを
自分の言葉でまとめることができるか。

Ⅱ期　俳優体験　脚本を読んで創造『行動から人間を作り上げよう』

はじめに、簡単なト書き（人物の行動）が書かれた脚本（人物の背景、具体的なセリフなどには自由な解釈の余地がある）を読みます。そして、各々が人物のことを想像し、受験生同士で話し合い、演技を創造、発表します。それを撮影した映像を見て、互いに意見交換します。最後に２分間PRとして自己アピールの時間をとります。（体験授業型入試はオーディションではなく授業です。今の演技力よりも、授業に取り組む意欲、その日の成長を評価します）

評価ポイント

1）行動の背景を想像する力、演技を創造する構想力
2）創造した人間を、声や表情、身体すべてを使って現出させる表現力
3）人と話し合い、また協力し合い共同作業ができるコミュニケーション力

体験授業と合わせて実施する選考

２分間の自己アピールは自由です。「いまのあなたの魅力」が伝わるように自己表現してください。

評価ポイント

あなたが「どんな魅力をもっている人」なのか、自分を見つめて人に伝える言葉や身体表現を評価します。

持参物・服装

Ⅰ期：筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、メモ帳、飲み物（演技で身体を一日中動かすため）

服装　動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダル不可）

Ⅱ期：筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、メモ帳、飲み物（演技で身体を一日中動かすため）

服装　動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダル不可）

舞台芸術学科　演技・演出コース

体験授業内容

Ⅰ期　俳優の仕事を体験しよう！－コミュニケーション編－

午前中は、相手役とのコミュニケーションに焦点を当てた演技ワークショップを体験します。午後は、各自の希望で「演技チーム」「ダンスチーム」「歌唱チーム」に分かれます。演技チームは短い場面づくりに、ダンスチームはミュージカル・ナンバーを使ったダンス表現に、歌唱チームはミュージカル・ナンバーの歌唱表現に挑戦します。授業の最後は、舞台デザインコースと合同で「舞台芸術とは？」を考えるワークショップを実施します。

評価ポイント

体験授業型入試はオーディションではありません、授業です。演技力よりも課題に向き合う姿勢や一日を通しての成長度、発見、気付きを重視します。

体験授業と合わせて実施する選考

一日を通して発見したこと、気付いたこと、学んだことをレポートにまとめます。

評価ポイント

1) 午前、午後のそれぞれの授業の中で、
　記憶や印象に残っている体験を具体的に記述できているか
2) 午前、午後のそれぞれの授業の中での気付きや発見を
　具体的に記述できているか
3) 自分の考えを適切にわかりやすく記述できているか

Ⅱ期　俳優の仕事を体験しよう－感覚表現編－

午前中は、感覚や感情表現に焦点を当てた演技ワークショップを体験します。午後は、各自の希望で「演技チーム」「ダンスチーム」「歌唱チーム」に分かれます。演技チームは短い場面づくりに、ダンスチームはミュージカル・ナンバーを使ったダンス表現に、歌唱チームはミュージカル・ナンバーの歌唱表現に挑戦します。一日の最後には、舞台デザインコースと合同で「舞台芸術とは？」を考えるワークショップを実施します。

評価ポイント

体験授業型入試はオーディションではありません、授業です。演技力よりも課題に向き合う姿勢や一日を通しての成長度、発見、気付きを重視します。

体験授業と合わせて実施する選考

一日を通して発見したこと、気付いたこと、学んだことをレポートにまとめます。

評価ポイント

1) 午前、午後のそれぞれの授業の中で、
　記憶や印象に残っている体験を具体的に記述できているか
2) 午前、午後のそれぞれの授業の中での気付きや発見を
　具体的に記述できているか
3) 自分の考えを適切にわかりやすく記述できているか

持参物・服装

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、メモ帳

服装　動きやすい服装、
スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダル不可）

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）

服装　動きやすい服装、
スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダル不可）

舞台芸術学科　舞台デザインコース

体験授業内容

Ⅰ期　様々な素材を使って動く舞台装置を作ろう！

動く舞台装置があることをご存知ですか？舞台を彩る舞台装置の中には、動くことで劇空間を生み出すものも存在します。今回の授業では、モチーフを読み解き、動く舞台装置をみなさんで創作します。動くという要素を取り入れた舞台装置をデザインし、創作することを通して舞台ならではの協働を体験してみましょう。授業の最後には、演技・演出コースと合同で「舞台芸術とは何か」を考えるワークショップを実施します。

評価ポイント

1) モチーフを読み込み、
　自分のデザインを考えることにチャレンジできるか
2) レクチャーを生かしてプランを修正する学ぶ力があるか
3) 作業に臨む姿勢を通して、継続力、集中力があるか
4) 作品のプレゼンを通して、人に意見を発信する力があるか
5) グループワークを通して、他者とのコミュニケーション能力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員と1対1の面談（3~5分程度）を実施します。

評価ポイント

人物像、独創性、積極性、熱意、これからの可能性を評価します。準備をしてきた回答ではなく、その場の質問を受けて、自分の言葉で何を語るかを重視します。

Ⅱ期　照明機材や平台などの舞台備品を用いて劇空間づくりに挑戦!

はじめに、モチーフを読み解き、自由に舞台空間をイメージして舞台のプランを作成します。その後、実際の劇場空間を使用し、照明や舞台備品を工夫しながらイメージした世界を表現してみましょう。色々な機材に関する学びやグループワークでの発見を活かしつつ「劇空間」づくりに挑戦することで、舞台ならではの協働を体験します。授業の最後には、演技・演出コースと合同で「舞台芸術とは何か」を考えるワークショップを実施します。

評価ポイント

1) モチーフを読み込み、
　自分のデザインを考えることにチャレンジできるか
2) レクチャーを生かしてプランを修正する学ぶ力があるか
3) 作業に臨む姿勢を通して、継続力、集中力があるか
4) 作品のプレゼンを通して、人に意見を発信する力があるか
5) グループワークを通して、他者とのコミュニケーション能力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員と1対1の面談（3~5分程度）を実施します。

評価ポイント

人物像、独創性、積極性、熱意、これからの可能性を評価します。準備をしてきた回答ではなく、その場の質問を受けて、自分の言葉で何を語るかを重視します。

持参物・服装

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、色鉛筆またはクレヨン（12色以上）、はさみ、のり、カッターナイフ（こちらでも用意しますが、ご自身で使いやすいものがあれば持参してください）

服装　汚れてもよい動きやすい服装、
スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダル不可）、
スカート不可、髪の毛の長い人は束ねる（髪を束ねるためのゴム持参）

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）

服装　汚れてもよい動きやすい服装、
スニーカーなどの動きやすい靴（ヒールやサンダル不可）、
スカート不可、髪の毛の長い人は束ねる（髪を束ねるためのゴム持参）

文芸表現学科　クリエイティブ・ライティングコース

体験授業内容

Ⅰ期　ことばの表現(読む、書く、聴く、話す)を体験して学ぼう①

次のような、ことばを使ったさまざまな表現を体験する授業です。その場で読んだ小説の内容を正確につかみ、より深い味わい方を模索する読書会。授業でやり方を丁寧に教わり、800字～1200字程度の文芸作品を執筆する演習。文芸と社会についての講義(聴講した内容をもとにレポートを書きます)。これらの体験を通して、ことばの世界に対する興味が広がり、ことばとの関わりがより豊かなものになることを目指します。

評価ポイント
1) 読書会における「読解力」「要約力」
2) 文芸作品の執筆における「発想力」「文章表現力」
3) 講義における「傾聴力」「思考力」

体験授業と合わせて実施する選考

教員2名との個別面談を行います。

評価ポイント
1) 本学科とのマッチング
2) 大学で学び続け、成長していくことができる姿勢
3) 書くこと、読むことへの興味関心

Ⅱ期　ことばの表現(読む、書く、聴く、話す)を体験して学ぼう②

次のような、ことばを使ったさまざまな表現を体験する授業です。その場で読んだ小説の内容を正確につかみ、より深い味わい方を模索する読書会。授業でやり方を丁寧に教わり、800字～1200字程度の文芸作品を執筆する演習。文芸と社会についての講義(聴講した内容をもとにレポートを書きます)。これらの体験を通して、ことばの世界に対する興味が広がり、ことばとの関わりがより豊かなものになることを目指します。

評価ポイント
1) 読書会における「読解力」「要約力」
2) 文芸作品の執筆における「発想力」「文章表現力」
3) 講義における「傾聴力」「思考力」

体験授業と合わせて実施する選考

教員2名との個別面談を行います。

評価ポイント
1) 本学科とのマッチング
2) 大学で学び続け、成長していくことができる姿勢
3) 書くこと、読むことへの興味関心

持参物

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、あなたが他者に紹介したいと思う「本」(1冊)
※使用不可の用具：辞書、電子書籍

こども芸術学科　こども芸術コース

体験授業内容

Ⅰ期　こども目線で瓜生山を観察し、「物語」をつむぐ

こどもの可能性を引き出し、育むために「物語」はとても大切です。まずは緑豊かな瓜生山で、あなたのこども心を呼び覚まし、自然をよく観察してみましょう。次に、こども目線で見つけた気づきをもとに、みんなで「物語」をつむいでいきます。最後に、こどもへ届ける方法を考えて、作品をカタチにしていきます。発想から構想へ、「こども」と「芸術」をキーワードとしたこども芸術学科での学びが体験できる授業です。

評価ポイント
1) 授業内容および出題の意図を理解できているか
2) 楽しみながら前向きに完成までやり遂げることができているか
3) 瓜生山で得た遊びのアイデアをもとに、
　こどもにとって魅力的な物語を構想しカタチにできているか
4) 他者のアイデアや意見に耳を傾け、
　グループワークに積極的に参加しているか
5) 活動や制作物について他者に届くように伝えることができているか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント
1) 志望動機が具体的かつ明確であるか
2) こども芸術学科での学びに意欲があるか
3) 自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか
4) 質問に適切に受け答えできるか

Ⅱ期　こどもがあそびを発見する「遊具」のデザイン

大人にとっては見慣れた平凡な場所でも、こどもはそこでワクワクしながら何かを発見し、次々と新しいあそびを創造していきます。あなたもこどもになったつもりで、瓜生山キャンパスを探検したり、テープや粘土など身近な造形素材に触れながら、あそびを発想してみましょう。そこで得たアイデアをもとに、こどもにとって魅力的な「遊具」を構想していきます。あそびを軸に発想から構想へ、こども芸術学科ならではのデザインプロセスが体験できる授業です。

評価ポイント
1) 授業内容および出題の意図を理解できているか
2) 楽しみながら前向きに完成までやり遂げることができているか
3) 瓜生山キャンパスで得た遊びのアイデアをもとに、
　こどもにとって魅力的な遊具を構想しカタチにできているか
4) 他者のアイデアや意見に耳を傾け、
　グループワークに積極的に参加しているか
5) 活動や制作物について他者に届くように伝えることができているか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント
1) 志望動機が具体的かつ明確であるか
2) こども芸術学科での学びに意欲があるか
3) 自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか
4) 質問に適切に受け答えできるか

持参物・服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳やノート、自分の使い慣れた描画用具一式(色鉛筆、クレヨン、水彩絵具、アクリル絵具、筆、パレット、雑巾、はさみ、水分補給用の飲料

服装　野外で行動しやすい服装、
スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)、
熱中症対策のための帽子やタオル

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、ノート、はさみ

服装　汚れてもよい服装、動きやすい服装、
スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)、
野外で行動しやすい服装、帽子

面接形式

外国人留学生入試　Ⅰ期・Ⅱ期

募集定員　Ⅰ期 若干名　｜　Ⅱ期 若干名

入試のポイント　ポートフォリオとオンライン面接で受験可能。

実施方法　オンライン（Zoom）

コース併願（無料）　2コースまでの併願が可能。
2コース併願し、2コースとも合格基準に達した場合は、志望順位の高いコースのみ合格となります。

	Ⅰ期	Ⅱ期
1 インターネット出願登録	7月22日（月）～29日（月） ※最終日は23:59まで登録可	10月22日（火）～29日（火） ※最終日は23:59まで登録可
2 出願書類提出	7月22日（月）～8月1日（木） ※必着	10月22日（火）～11月1日（金） ※必着
3 一次審査合格発表	9月20日（金） ※WEB 発表 10：00にインターネット出願サイトにて 一次合格者受験番号一覧を公表します。 （インターネット出願サイトへのログインが必要です）	11月27日（水） ※WEB 発表 10：00にインターネット出願サイトにて 一次合格者受験番号一覧を公表します。 （インターネット出願サイトへのログインが必要です）
4 二次審査（オンライン面接）試験日	10月19日（土）	12月7日（土）
5 二次審査合格発表	11月1日（金） ※10:00にインターネット出願サイトにて合格者受験番号一覧を公表 （インターネット出願サイトへのログインが必要です）	※Ⅱ期には二次審査合格発表はありません。
6 最終合格発表	2025年1月8日（水）　通知投函　※WEB発表なし	
7 入学手続	2025年1月17日（金）　手続締切	

試験内容

一次審査｜提出書類とポートフォリオによる書類審査　※一次審査に合格した方のみ二次審査に進むことができます
二次審査｜20分程度のオンライン面接（Zoomを使用）5分程度の自己アピールとその後の質疑応答。
自己アピール時にZoomの画面共有機能を使用することができます。実作品等を持ち込み面接を受けることはできません。

評価のポイント

高校までの基礎的な学習を実直かつ継続的に取り組んできたか、芸術に関わる知識や技術を身につけてきたか、
就学するための十分な日本語能力およびコミュニケーション能力があるか、本学で自分を成長させようとする意欲があるか等を
提出書類(志望理由書、各種証明書等)、ポートフォリオ、面接から総合的に評価します。

1 インターネット出願登録

手続：インターネット
検定料：35,000円(コース併願無料)

① コースを選ぶ

2コースまで併願することができます。併願する場合は志望順位を決めてください。

② 出願登録

証明写真をデータで用意し、フォームより出願登録をしてください。詳細はP38

③ 検定料の納入

詳細はP39

2 出願書類提出

手続：郵送 または 窓口持参

① 出願書類提出

入学願書をダウンロード・印刷のうえ、郵送または窓口持参にて提出してください。
出願に必要な書類はP32-33を確認してください。窓口受付｜月～土 9:00～17:30
(日・祝休)、年末年始期間の窓口受付は行なっておりません。

※海外から郵送する場合は日数がかかりますので早めにインターネット出願登録を行い、すぐに書類を提出してください。必着日は変わりませんのでご注意ください。詳細はP40

② 受験票をダウンロード

インターネット出願登録の際に登録されたメールアドレスに受験票発行通知メールをお送りします。各自でダウンロード・印刷してください。一次審査合否発表まで大切に保管してください。

※一次審査結果発表日の3日前になっても受験票発行通知メールが届かない場合はアドミッション・オフィスまでお問い合わせください。詳細はP41

3 一次審査合格発表

出願書類とポートフォリオを元に一次審査を行います。一次審査に合格された方のみ二次審査(オンライン面接)に進むことができます。
10:00にインターネット出願サイトにて一次合格者受験番号一覧を公表します。
不合格への通知は送付しません。

受験票を再ダウンロードする

一次審査合格者へは面接時間が記載された受験票をあらためて発行します。受験票発行通知メールが届いたら各自でダウンロード・印刷のうえ最終合格発表日まで大切に保管してください。

※一次審査合格者への通知の発送はありません。※二次審査(オンライン面接)日の3日前になっても受験票発行通知メールが届かない場合はアドミッション・オフィスまでお問い合わせください。

4 二次審査(オンライン面接)試験日

オンライン(Zoom)での面接を実施します。

5 二次審査合格発表

一次審査の評価に面接試験の評価を加え総合的に合否判定を行います。
10：00にインターネット出願サイトにて二次合格者受験番号一覧を公表します。 ※外国人留学生入試Ⅱ期には二次審査合格発表はありません。
二次審査合格者へは通知を送付します。不合格者への通知は送付しません。

6 最終合格発表

日本留学試験「日本語」の成績または日本語能力試験の結果等を総合的に判定します。
合格者には合格通知および入学手続要項を郵送します。※インターネット出願サイトでの発表はありません。

7 入学手続

締切日までに入学手続時納入金を納め、入学手続を済ませてください。詳細はP47

ポートフォリオについて

・ポートフォリオはA4サイズ、40ページ以内のもの1冊に限ります。
・出願書類とポートフォリオは角1サイズ(縦38.2cm×横27.0cm)の封筒に1つにまとめて提出してください。
・角1サイズの封筒に同封できないものは受け付けません(厚みのあるものが入る封筒をご用意ください)。
・2コース併願する場合も1冊のみ提出してください。
・ポートフォリオの表紙に、氏名を必ず明記すること。
・ポートフォリオに掲載する作品は受験者個人が制作したものに限ります。
・表面に立体物を貼りつける等の装飾は破損や他者のポートフォリオを破損する恐れがあるため、行わないでください。
・提出されたポートフォリオは原則返却しません。

下記の表は、ポートフォリオに含める内容として求める一例です。
全ての内容を含める必要はありませんが、ポートフォリオを制作する際の参考にしてください。

提出物に含める内容	備考
デッサン	鉛筆デッサン、木炭デッサンなど
色彩表現	水彩画、油画など
鉛筆写生	静物、人物、風景、建築物、インテリアなどの写真の克明な鉛筆写生
風景画・背景画	ー
立体造形	彫刻、陶磁器など
イラストレーション	オリジナルのテーマで制作したもの
キャラクター画	オリジナルのテーマで制作したもの
ビジュアル表現	写真、ポスター、グラフィックなど
映像作品	映像作品のみの提出は不可。ポートフォリオに作品のタイトルや説明文、ビジュアル、作品の意図や目的、制作期間などを示すこと。集団制作の場合、自分がどのような役割を担ったのかを示すこと。リージョンフリーのDVDで提出してください。
ワークショップ、グループ制作などの資料	グループワークの場合、自分がどのような役割でどのような活動をしたのかを示すこと
論文、評論、脚本、創作文などの文字資料	すべて自分で日本語訳したものを提出すること

筆記形式

外国人留学生科目選択型入試　Ⅰ期・Ⅱ期

募集定員　Ⅰ期 10％　｜　Ⅱ期 10％

入試のポイント
・国語・英語、小論文、鉛筆デッサン一手/静物のうちの得意科目で受験可能。
・全国5会場にて実施。

会場　京都、東京、名古屋、岡山、福岡（会場地図はP45）

コース併願（無料）　4コースまでの併願が可能。さらに、併設校の京都芸術デザイン専門学校と併願が可能。

	Ⅰ期	Ⅱ期
1 インターネット出願登録	10月22日(火) ～ 29日(火) ※最終日は23:59まで登録可	12月23日(月) ～ 2025年1月4日(土) ※最終日は23:59まで登録可
2 出願書類提出	10月22日(火) ～ 11月1日(金) ※必着	12月23日(月) ～ 2025年1月6日(月) ※必着
3 試験日	11月22日(金)	2025年1月30日(木)
4 一次審査合格発表	12月2日(月) ※10:00にインターネット出願サイトにて合格者受験番号一覧を公表 （インターネット出願サイトへのログインが必要です）	※Ⅱ期には二次審査合格発表はありません。
5 最終合格発表	2025年1月8日(水)　通知投函 ※WEB 発表なし	2025年2月7日(金) ※10：00にインターネット出願サイトにて合格者受験番号一覧を公表 （インターネット出願サイトへのログインが必要です）
6 入学手続	2025年1月17日(金)　手続締切	2025年2月19日(水)　手続締切

重　要

外国人留学生科目選択型入試Ⅱ期については、出願資格が他の入学試験と異なります。
出願時に「留学」の在留資格があり、在留期間が2025年3月31日まであることが出願の追加条件です。
出願時に更新の手続きをしている方は出願できます。

試験科目

午前「国語・英語」「鉛筆デッサン一手」「鉛筆デッサン一静物」　午後「小論文」「鉛筆デッサン一手」「鉛筆デッサン一静物」

午前と午後より1科目ずつ最大2科目受験することが可能です。1科目のみの受験も可能です。
午前と午後で同一科目を受験することはできません。

評価のポイント

「鉛筆デッサン一手／静物」	観察力・構成力・表現力
「小論文」	読解力・論理的思考力・文章表現力
「国語・英語」	基本的知識・文章読解力などの基礎学力

加えて、各科目共通している高等学校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力と
提出書類(志望理由書・各種証明書など)を含め総合的に評価します。

判定方法

科目ごとに合否判定を行います。2科目受験した場合は、 成績順位の高い科目で判定します。
2～4コース併願し、複数コースで合格基準に達した場合は、志望順位の高いコースのみ合格となります。

1 インターネット出願登録

手続：インターネット　検定料：35,000円

※コース併願無料/何科目受験しても検定料は変わりません

① コース・試験科目・試験会場を選ぶ

4コースまでの併願が可能。併願する場合は志望順位を決めてください。

② 出願登録

証明写真をデータで用意し、フォームより出願登録をしてください。詳細はP38

③ 検定料の納入

詳細はP39

2 出願書類提出

手続：郵送 または 窓口持参

① 出願書類提出

入学願書をダウンロード・印刷のうえ、郵送または窓口持参にて提出してください。
出願に必要な書類はP34-35を確認してください。窓口受付｜月～土 9:00～17:30
(日・祝休)、年末年始期間の窓口受付は行なっておりません。
※海外から郵送する場合は日数がかかりますので早めにインターネット出願登録を行い、すぐに書類を提出してください。必着日は変わりませんのでご注意ください。詳細はP40

② 受験票をダウンロード

インターネット出願登録の際に登録されたメールアドレスに受験票発行通知メールをお送りします。各自でダウンロード・印刷し、試験日にお持ちください。試験当日の注意事項が記載されています。また、合格発表まで大切に保管してください。
※試験日3日前になっても受験票発行通知メールが届かない場合は、アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。詳細はP41

3 試験日

選択した会場にて実施。会場地図はP45

4 一次審査合格発表

外国人留学生科目選択型入試Ⅰ期は、試験科目等による一次審査を行います。
一次審査合格者は、日本留学試験「日本語」の成績または日本語能力試験の結果を総合的に判断し最終合否判定を行います。
一次審査結果通知を大学より郵送します。不合格者への通知は送付しません。
なお、外国人留学生科目選択型入試Ⅱ期には一次審査合格発表はありません。日本語の能力を含めた最終合格発表のみ行います。

5 最終合格発表

日本留学試験「日本語」の成績または日本語能力試験の結果等を総合的に判定します。
合格者には合格通知および入学手続要項を郵送します。外国人留学生科目選択型入試Ⅱ期は不合格者への通知は発送しません。

6 入学手続

締切日までに入学手続時納入金を納め、入学手続を済ませてください。詳細はP47

国語・英語

試験内容	国語｜現代の国語、言語文化(古文・漢文を除く) 英語｜英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ 以上の範囲から出題。課題文を読み、関連の設問に解答(マークシート)。 ※出題にあたっては、新旧教育課程の共通の範囲から出題を行います。
時間	11:30～13:00(1時間30分)
配点	200点(国語100点／英語100点)
携行品(使用可能用具)	筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り)
大学準備物	問題用紙、解答用紙(マークシート)

ねらい

[国語] 専門的知識を問う問題ではなく、大学生レベルの学習で必要とされる語彙力と、文章の読解能力を問おうとする。語彙は漢字語や慣用句を問う形を取るが、単なる知識だけではなく、その運用能力を問う問題である。また読解能力を問うため、評論文・論説文・小説などを題材にして一定の長さの文章の内容理解について問題が出題される。
[英語] 長文読解をはじめ、語彙、熟語、構文問題が中心に出題される。長文は芸術、文化、美術、デザインをテーマとした内容が多く、入学後、専門領域で必要となる英語の運用能力が問われる。表やグラフ問題では英語情報を的確に理解する力が求められ、語順や文章の流れを問う問題ではコンテキスト(文脈)を正確に把握する力が求められる。

アドバイス

[国語] 難しい漢字の書き方を練習する必要はないが、漢字の勉強は大切。漢字の問題とは、文脈の中でどの漢字(漢字熟語)を使うか、という「語彙」の問題であることを意識して欲しい。また、読解能力の向上のために、文章中のキーワード・段落の組み立て・表現の流れなどに注意しながら現代文の問題(大学入学共通テストや私大文系向けのものが適切)を解いてみよう。日ごろから興味ある分野の読書に親しむ事も大切である。
[英語] 英語雑誌やインターネット情報の中で芸術、文化、美術、デザイン等、身近で興味深いと思える英文に少しでも多く触れておくことが大切である。中学・高校で学習した英単語、熟語の復習や暗記、苦手な文法項目の強化、またTOEIC等実用的な英語運用能力を高めるための練習問題を解いておくことが、入試に向けても効果的な勉強法である。

小論文

試験内容	与えられた文章について自分の考えを論述する(600～800字)。
時間	14:30～16:00(1時間30分)
配点	200点
携行品(使用可能用具)	筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り)
大学準備物	問題用紙、解答用紙、下書用紙(A4白紙)1枚

ねらい

以下の4点から評価をする。
・理解力(問題文の内容を把握しているか)
・表現力(日本語の表現・表記の妥当性、誤字・脱字の有無、文字数の過不足など)
・構成力(段落構成が適切であり、論旨が一貫しているか)
・内容(設問の解答として説得力があり、かつ主張に独自性・論理性・客観性があるか)
問題文は、芸術・人文・社会・自然などの分野から、評論文・論説文・エッセイなどを題材とする。

アドバイス

小論文試験では、問題文をじっくり読み、内容を理解することが重要である。従って第一に、日頃からさまざまな分野の多種多様な文章を読み、慣れておくことが必要である。第二に、600字から800字で小論文を書く練習が必要である。物語や詩などの創作とは異なり、小論文では問題文に即しつつ、自分独自の考えや主張を論理的かつ客観的に述べなければならない。人に読まれることを想定して書き、身近な人(先生や保護者など)に添削してもらう機会をもつことも大事である。

鉛筆デッサン－静物

試験内容	与えられたモチーフを自由に配置し、B3画用紙に鉛筆でデッサンする。
時間	午前｜10:00～13:00(3時間) 午後｜14:30～17:30(3時間)
配点	200点
携行品(使用可能用具)	鉛筆、消しゴム(ねり消し含む)、羽ぼうき(製図用ブラシ含む)、カルトン、カルトン用クリップ、鉛筆削り用具、デスケル、はかり棒、擦筆、ティッシュペーパーおよびガーゼ
モチーフ・課題の公表内容	紙コップ(白色3個)と公表モチーフ1種を描く。 ※試験ごとに、紙コップ3個と公表モチーフ1種(P25)が出題されます。※モチーフの詳細や出題に関する質問にはお答えできません。
大学準備物	問題用紙、モチーフ、解答用紙(B3画用紙)、下描用紙(A3白紙)1枚、下敷用紙(B2ケント紙)1枚

ねらい

デッサンはものの見方を理解し、目と手を連動させ空間を認識する上で大切である。全学科・コース共通のベーシックな課題として、本学では、紙コップ3個と他1種のモチーフに設定し、造形の基礎となるデッサンの試験を実施する。

アドバイス

鉛筆でデッサンすることも、空間表現であることを意識して欲しい。モチーフの置き方と画面への入れ方が、共に空間を感じさせる構成になっているか、画面内のモチーフと机上や光と影の関係に矛盾がないかなどをよく観察しながら、素直に目の前にあるものを描写することを心がけて欲しい。

鉛筆デッサン－手

試験内容	B3画用紙に手を鉛筆でデッサンする。
時間	午前｜10:00～13:00(3時間) 午後｜14:30～17:30(3時間)
配点	200点
携行品(使用可能用具)	鉛筆、消しゴム(ねり消し含む)、羽ぼうき(製図用ブラシ含む)、カルトン、カルトン用クリップ、鉛筆削り用具、デスケル、はかり棒、擦筆、ティッシュペーパーおよびガーゼ
モチーフ・課題の公表内容	自身の手を描く。
大学準備物	問題用紙、解答用紙(B3画用紙)、下描用紙(A3白紙)1枚、下敷用紙(B2ケント紙)1枚

ねらい

デッサンはものの見方を理解し、目と手を連動させ空間を認識する上で大切である。全学科・コース共通のベーシックな課題として、本学では、自身の手をモチーフとして、造形の基礎となるデッサンの試験を実施する。手の全体感と細部の関係、そして、有機的な動勢や質感を捉え「手らしさ」を観察する力、手がつくる空間を把握し、表現する力をみる。

アドバイス

鉛筆でデッサンすることも、空間表現であることを意識して欲しい。手を画面の中でどのように構成しているか、指の動きや位置関係が不自然でないか、明暗の強弱が単調でないかなどを意識し、素直に観察して丁寧に描写することを心がけて欲しい。

○モチーフ公表の意図について

アドミッション・ポリシー（P53）の通り、科目選択型入試においては、「高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力が見られるか」を入学者選抜の方針と定めている。芸術大学の入学試験が、高校までの基礎的な学習を超えた過度の専門性を問われる特異なものであるのは望ましくなく、全国各地で学ぶ受験生のいずれもが等しく基礎的な学習を行った上で入学試験に臨むことができ、かつその学習継続の成果を評価したいという趣旨でモチーフの公表を行なっている。日々継続的に芸術を学ぶ上での基礎力としての観察力・構成力・表現力を磨いた上で入学試験に臨んで欲しい。

紙コップ（白色３個）

公表モチーフ

ペーパータオル

ニンジン

アボカド

ヘチマたわし

布（ストライプ）

ハンガー

ジャバラ筆洗

メスティン

外部試験利用形式

外国人留学生日本留学試験利用型入試

募集定員	若干名
入試のポイント	日本留学試験の結果のみで受験可能。「日本語」に加え、他の科目を１科目以上受験してください。 ※「日本語」のみの受験では、本入学試験には出願できません。
会場	日本留学試験各会場　コース併願（無料）　2コースまでの併願が可能
対象となる試験	2023年実施分：第１回(6月実施)・第２回（11月実施） 2024年実施分：第１回(6月実施)・第２回（11月実施）
評価のポイント	高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力と 芸術を学ぶ上での基礎力としての基本的知識･文章読解力･論理的思考力が各教科において身についているかを 日本留学試験の成績、提出書類（志望理由書、各種証明書など）から総合的に評価します。

1 インターネット出願登録

2025年2月10日(月) ～ 17日(月)

※最終日は23:59まで登録可

2 出願書類提出

2025年2月10日(月) ～ 19日(水)

※必着

3 合格発表

2025年3月5日(水)

※10:00にインターネット出願サイトにて合格者受験番号一覧を公表
(インターネット出願サイトへのログインが必要です)

4 入学手続

2025年3月12日(水)　手続締切

重　要

出願資格が他の入学試験と異なります。
出願時に「留学」の在留資格があり、在留期間が2025年3月31日まであることが出願の追加条件です。
出願時に更新の手続きをしている方は受験できます。

●日本留学試験（EJU）を2023年6月または11月、2024年6月または11月のいずれかの試験にて、
「日本語」および「日本語」以外に1科目以上受験した者が対象。
●複数の科目を受験した場合、「日本語」以外で一番高得点となった1科目の得点を採用します。
●判定に使用する科目の点数は、日本留学試験のいずれか1回分の成績です。
複数回をまたがった科目の組み合わせで判定はおこないません。
●対象となる日本留学試験のいずれか1回分の受験票または成績通知書のコピーを、出願時に願書等と一緒に提出してください。
※複数回分の提出があった場合、一番最後の回の成績を採用します。

1 インターネット出願登録

手続：インターネット
検定料：15,000円（コース併願無料）

① コースを選ぶ

2コースまでの併願が可能。
併願する場合は志望順位を決めてください。

② 出願登録

証明写真をデータで用意し、フォームより出願登録をしてください。詳細はP38

③ 検定料の納入

詳細はP39

2 出願書類提出

手続：郵送 または 窓口持参

① 出願書類提出

入学願書をダウンロード・印刷のうえ、郵送または窓口持参にて提出してください。出願に必要な書類はP36-37を確認してください。
窓口受付｜月～土 9:00～17:30（日・祝休）
詳細はP40

② 受験票をダウンロード

インターネット出願登録の際に登録されたメールアドレスに受験票発行通知メールをお送りします。各自でダウンロード・印刷し、合格発表まで大切に保管してください。
※合格発表日の3日前になっても発行通知メールが届かない場合は、アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。詳細はP41

3 合格発表

合格者へは合格通知と入学手続書類を大学より郵送します。
※不合格者への通知は送付しません。

4 入学手続

締切日までに入学手続時納入金を納め、入学手続を済ませてください。
詳細はP47

重 要 エントリー・出願について

●出願書類は入試ごとにすべて提出してください。封筒も入試ごとに別で提出してください。

●出願書類について、書類に記載された内容は本学の入試だけでなく、在留資格認定証明書の交付申請書類作成のための重要な資料になります。事実のとおり正確に記入してください。事実と異なる記載があった場合、不合格とします。また、入学許可後に事実と異なる記載のあることが判明した場合、入学許可を取り消します。

●出願書類に不備がある場合は受理できません。出願書類をよく確認のうえ提出してください。

●本学が個別に指定した場合を除き、出願期間外に届いた書類は受理できません。

●一部の書類を別に提出することはできません。全ての書類および定められた提出物をそろえて提出してください。

●出願書類受理後の志望順位、志望コース、受験科目など、試験に関わる内容の追加や変更は認めませんので、提出前によく確認してください。住所・電話番号等の個人情報に変更が生じた場合は、必ずアドミッション・オフィスに連絡してください。

●氏名、住所等に旧字体が含まれている場合は、常用漢字の代替文字にて対応させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●出願書類の到着に関する問い合わせには対応しません。利用した輸送機関の追跡サービスで確認してください。

●本学園では個人情報保護の重要性を認識し、個人保護に関する法令を遵守するとともに、適法かつ適正に個人情報を取り扱います。

【注意】証明書類の取り寄せや翻訳文の作成は日数がかかるので、早めに準備してください。

外国人留学生体験授業型入試（Ⅰ期・Ⅱ期）エントリー・出願に必要な書類

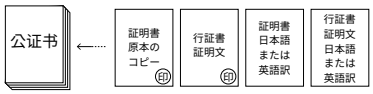
翻訳 **証明書等が日本語・英語以外で書かれている場合**

●翻訳文を添付してください（原本と翻訳文の両方を提出してください）。
●翻訳文には日本語学校や翻訳会社等で翻訳文が正確なものであるという証明を受けてください。
●翻訳文には翻訳者氏名、所属および翻訳者の捺印／署名が必要です。

ダウンロード **指定書式の書類をダウンロード**

インターネットエントリー登録後、出願ページの「出願／出願確認」からダウンロードし、印刷してください。

外国人留学生体験授業型入試（Ⅰ期・Ⅱ期）エントリーに必要な書類

	書類の種類	注意事項ほか	様式
1	**エントリー申込書** ダウンロード	インターネット登録後、印刷したものを必ず提出してください。	指定書式
2	**経歴書** ダウンロード	志願者本人が黒ペンを使って直筆で記入してください。（鉛筆・フリクションペンは不可）	指定書式
3	**在留カード**（該当者のみ）	表面・裏面両方のコピーを提出してください。裏面が無記入の場合でも必ずコピーを提出してください。※海外在住により所持していない場合は提出不要です。	コピー
4	**高等学校（後期中等教育機関）の卒業（見込）証明書**	・1年以内に発行された原本 ・代理機関から発行されたものは不可 ・合否にかかわらず返却不可 ・電子版証明書（PDF含む）を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ可 ※卒業証書（diploma／毕业证书）ではなく卒業証明書（Graduation certificate／毕业证明书）が必要です。 以下の場合は次の1または2の方法を取ってください。 ●卒業証明書が発行されない場合 ●原本のみ1通しか発行されない場合 ●電子版証明書に個人の証明内容が確認できるQRコードやURL等の記載がない場合 1. 公証役場で公証した証明書 例）  2. 証明書（証書）の発行機関（出身校等）で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したもの	原本（コピー不可） 翻訳
5	**封筒貼付用宛名シート** ダウンロード	市販の角2サイズ封筒（縦33.2㎝×横24.0㎝）に本票を貼付け、**簡易書留速達または持参し提出してください。**	指定書式

外国人留学生体験授業型入試（Ⅰ期・Ⅱ期）で「出願可」となり出願する場合に必要な書類

	書類の種類	注意事項ほか	様式
1	**入学願書**	**「出願可」となった方に送付します。**必ず所定の用紙を使用してください。志願者本人が黒ペンを使って直筆で記入してください。（鉛筆・フリクションペンは不可）	指定書式
2	**検定料納付票**	・**「出願可」となった方に送付します。** ・本学所定の払込取扱票を使用し、必要事項を記入のうえ、郵便局またはゆうちょ銀行の窓口にて払い込んでください。（ATMは使用できません） ・一旦納入された検定料は返還できません。 ・受付局日附印の押された「振替払込受付証明書（お客さま用）」を必ず受け取り、［検定料納付票］の所定の位置に貼付してください。 ・受付局日附印のないもの、「振替払込受付証明書」を使用していないもの、および貼付されていないものは無効です。「振替払込請求書兼受領証」は領収書となりますので大切に保管してください。	指定書式
3	**写真1枚**	入学願書に貼付してください。上半身、脱帽、正面、背景なし、縦4㎝×横3㎝で枠なし、3ヵ月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名と志望コースを記入。 ※スナップ写真・カラーコピー・プリンターから出力したものは不可。	―
4	**パスポート**	氏名および顔写真が記載されたページのコピー（出願時点で最新のもの）を提出してください。	コピー

次ページへ続く

外国人留学生体験授業型入試（Ⅰ期・Ⅱ期）エントリー・出願に必要な書類

	書類の種類	注意事項ほか	様式
5	高等学校 (後期中等教育機関)の 成績証明書	・1年以内に発行された原本 ・入学年度から卒業年度まで、学期ごとに成績状況が記載されているもの。 ・日本の高等学校で修得した科目がある場合は、あわせて当該高等学校の成績証明書を提出すること。 ・代理機関から発行されたものは不可 ・合否にかかわらず返却不可 ・電子版証明書（PDF含む）を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ可 以下の場合は次の1または2の方法を取ってください。 ●原本のみ1通しか発行されない場合 ●電子版証明書に個人の証明内容が確認できるＱＲコードやＵＲＬ等の記載がない場合 1. 公証役場で公証した証明書 例）公証書 ← 証明書原本のコピー㊞ / 行証書証明文㊞ / 証明書日本語または英語訳 / 行証書証明文日本語または英語訳 2. 証明書の発行機関（出身校等）で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したもの	原本 (コピー不可) 翻訳
6	留学経費支弁誓約書	「出願可」となった方に送付します。留学経費の支弁者または志願者本人が直筆で記入のこと。	指定書式
7	留学経費支弁者との関係 （該当者のみ）	留学経費支弁者との関係を明らかにする書類を提出してください。 ※留学経費支弁者が親族（父母、祖父母、兄弟姉妹、伯（叔）父、伯（叔）母）の場合、提出は不要です。それ以外の場合、志願者と留学経費支弁者との関係や支弁する理由について、事情が詳しくわかる書類を作成し提出してください。	コピー可 翻訳
8	留学経費支弁者の 年間所得	留学経費支弁者の年間の所得などを公的に証明する書類を提出してください。［留学経費支弁誓約書］に記載された内容の前提となる公的書類一式を提出してください。 例）会社員：年間所得証明書、預金残高証明書 自営業・フリーランス・退職後：預金残高証明書 ・1年以内に発行されたものに限ります。	コピー可 翻訳
9	日本語教育施設 出席状況証明書 （該当者のみ）	日本語学校等の日本語教育施設に在籍中の方は、日本語教育施設にて記入された、入学～出願時点までの「出席状況証明書」（様式自由）を提出してください。 ※日本語学校等に在籍していない方（すでに卒業した方も含む）は不要です。	原本 (コピー不可)
10	日本語試験の通知書類	下表のとおり、該当する書類を提出してください。 期日までに届かない場合、判定不能のため不合格となります。 **いずれか一つ**の書類を提出してください。 (1)日本語能力試験（JLPT）の場合 …**「認定結果および成績に関する証明書（原本）」**を提出。（コピー不可） ※改めてJEESに「証明書」を請求してください。なお提出された証明書原本は返却いたしません。 (2)日本留学試験（EJU）の場合 …**「受験票のコピー」**を提出。 2024年6月以前に受験：出願時に提出 2024年11月受験：外国人留学生体験授業型入試Ⅰ期・Ⅱ期に出願する場合 **12月6日（金）必着** 【注意】複数回分の提出があった場合、一番最後に受験した回の分を採用します。	指定あり

(1)日本語能力試験（JLPT）　コピー ~~不可~~　原本 可

・認定結果及び成績に関する証明書
・合否結果通知
・日本語能力認定書
どれかひとつ、原本を提出してください。
JLPTの場合、コピーは受け付けません。
提出された書類は、どんな理由でも返却しません。

(2)日本留学試験（EJU）　コピー 可

受験票のコピーを提出を提出してください。受験番号がわかるものがあれば、成績は必要ありません。

外国人留学生入試（Ⅰ期・Ⅱ期）　出願に必要な書類

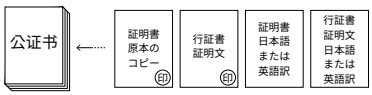
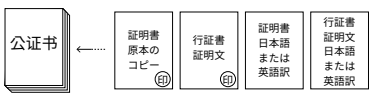
翻訳　証明書等が日本語・英語以外で書かれている場合

●翻訳文を添付してください（原本と翻訳文の両方を提出してください）。
●翻訳文には日本語学校や翻訳会社等で翻訳文が正確なものであるという証明を受けてください。
●翻訳文には翻訳者氏名、所属および翻訳者の捺印／署名が必要です。

ダウンロード　指定書式の書類をダウンロード

インターネットエントリー登録、検定料支払い後、出願ページの「出願／出願確認」からダウンロードし、印刷してください。

外国人留学生入試（Ⅰ期・Ⅱ期）出願に必要な書類

	書類の種類	注意事項ほか	様式
1	入学願書 ダウンロード	インターネット登録、検定料支払い後、ダウンロード・印刷したものを必ず提出してください。	指定書式
2	経歴書 ダウンロード	必ず指定の用紙を使用してください。志願者本人が黒ペンを使って直筆で記入してください。（鉛筆・フリクションペンは不可）	指定書式
3	志望理由書 ダウンロード	ダウンロード・印刷した所定の書式に手書きで記入してください。 ※所定のフォーマット内に収まるように記入してください。 ※フォーマットに字数の制限はありませんが、必ず欄内にまとめてください。 ※志望コース数によって枚数が異なります（1~2枚）。 ※所定のフォーマット以外の志望理由書は受理いたしません。 ※鉛筆書き不可。	指定書式
4	在留カード （該当者のみ）	表面・裏面両方のコピーを提出してください。裏面が無記入の場合でも必ずコピーを提出してください。更新手続中の場合、裏面に「更新許可申請中」のスタンプが押してあること。※海外在住により所持していない場合は提出不要です。	コピー
5	パスポート	氏名および顔写真が記載されたページのコピー（出願時点で最新のもの）を提出してください。	コピー
6	高等学校（後期中等教育機関）の卒業（見込）証明書	・1年以内に発行された原本 ・代理機関から発行されたものは不可 ・合否にかかわらず返却不可 ・電子版証明書（PDF含む）を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ可 ※卒業証書（diploma/毕业证书）ではなく卒業証明書（Graduation certificate/毕业证明书）が必要です。 以下の場合は次の1または2の方法を取ってください。 ●卒業証明書が発行されない場合 ●原本のみ1通しか発行されない場合 ●電子版証明書に個人の証明内容が確認できるQRコードやURL等の記載がない場合 1. 公証役場で公証した証明書　例）  2. 証明書（証書）の発行機関（出身校等）で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したもの	原本 （コピー不可） 翻訳
7	高等学校（後期中等教育機関）の成績証明書	・1年以内に発行された原本 ・入学年度から卒業年度まで、学期ごとに成績状況が記載されているもの。 ・日本の高等学校で修得した科目がある場合は、あわせて当該高等学校の成績証明書を提出すること。 ・代理機関から発行されたものは不可 ・合否にかかわらず返却不可 ・電子版証明書（PDF含む）を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ可 以下の場合は次の1または2の方法を取ってください。 ●原本のみ1通しか発行されない場合 ●電子版証明書に個人の証明内容が確認できるＱＲコードやＵＲＬ等の記載がない場合 1. 公証役場で公証した証明書　例）  2. 証明書の発行機関（出身校等）で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したもの	原本 （コピー不可） 翻訳

次ページへ続く

外国人留学生入試（Ⅰ期・Ⅱ期）　出願に必要な書類

<table>
<tr><th></th><th>書類の種類</th><th>注意事項ほか</th><th>様式</th></tr>
<tr><td>8</td><td>留学経費支弁誓約書
ダウンロード</td><td>留学経費の支弁者または志願者本人が直筆で記入のこと。</td><td>指定書式</td></tr>
<tr><td>9</td><td>留学経費支弁者との関係
（該当者のみ）</td><td>留学経費支弁者との関係を明らかにする書類を提出してください。
※留学経費支弁者が親族（父母、祖父母、兄弟姉妹、伯（叔）父、伯（叔）母）の場合、提出は不要です。それ以外の場合、志願者と留学経費支弁者との関係や支弁する理由について、事情が詳しくわかる書類を作成し提出してください。</td><td>コピー可
翻訳</td></tr>
<tr><td>10</td><td>留学経費支弁者の年間所得</td><td>留学経費支弁者の年間の所得などを公的に証明する書類を提出してください。［留学経費支弁誓約書］に記載された内容の前提となる公的書類一式を提出してください。
例）会社員：年間所得証明書、預金残高証明書
　　自営業・フリーランス・退職後：預金残高証明書
・1年以内に発行されたものに限ります。</td><td>コピー可
翻訳</td></tr>
<tr><td>11</td><td>日本語教育施設出席状況証明書
（該当者のみ）</td><td>日本語学校等の日本語教育施設に在籍中の方は、日本語教育施設にて記入された、入学～出願時点までの「出席状況証明書」（様式自由）を提出してください。
※日本語学校等に在籍していない方（すでに卒業した方も含む）は不要です。</td><td>原本
（コピー不可）</td></tr>
<tr><td>12</td><td>日本語試験の通知書類</td><td>下表のとおり、該当する書類を郵送（簡易書留速達）にて提出してください。
期日までに届かない場合、判定不能のため不合格となります。
いずれか一つの書類を提出してください。

⑴日本語能力試験（JLPT）の場合
…「認定結果および成績に関する証明書（原本）」を提出。（コピー不可）
※改めてJEESに「証明書」を請求してください。なお提出された証明書原本は返却いたしません。
<table><tr><th>2023年12月以前に受験</th><th>2024年7月受験</th></tr><tr><td rowspan="2">出願時に提出</td><td>外国人留学生入試Ⅰ期に出願する場合
12月6日（金）必着</td></tr><tr><td>外国人留学生入試Ⅱ期… 出願時に提出</td></tr></table>⑵日本留学試験（EJU）の場合
…「受験票のコピー」を提出。
<table><tr><th>2024年6月以前に受験</th><th>2024年11月受験</th></tr><tr><td rowspan="2">出願時に提出</td><td>外国人留学生入試Ⅰ期に出願する場合
12月6日（金）必着</td></tr><tr><td>外国人留学生入試Ⅱ期… 出願時に提出</td></tr></table>【注意】複数回分の提出があった場合、一番最後に受験した回の分を採用します。

⑴日本語能力試験（JLPT）　コピー ~~不可~~　原本 可

・認定結果及び成績に関する証明書
・合否結果通知
・日本語能力認定書
どれかひとつ、原本を提出してください。
JLPTの場合、コピーは受け付けません。
提出された書類は、どんな理由でも返却しません。

⑵日本留学試験（EJU）　コピー 可
受験票のコピーを提出を提出してください。受験番号がわかるものがあれば、成績は必要ありません。</td><td>指定あり</td></tr>
<tr><td>13</td><td>封筒貼付用宛名シート
ダウンロード</td><td>市販の角1サイズ封筒（縦38.2㎝×横27.0㎝）に本票を貼付け、簡易書留速達または持参し提出してください。</td><td>指定書式</td></tr>
<tr><td>14</td><td>ポートフォリオ</td><td>A4サイズ、40ページ以内のもの1冊。詳しくはP22を参照してください。</td><td>ー</td></tr>
</table>

外国人留学生科目選択型入試（Ⅰ期・Ⅱ期）　出願に必要な書類

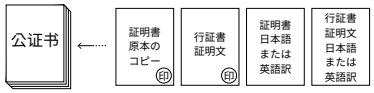
翻訳　証明書等が日本語・英語以外で書かれている場合

●翻訳文を添付してください（原本と翻訳文の両方を提出してください）。
●翻訳文には日本語学校や翻訳会社等で翻訳文が正確なものであるという証明を受けてください。
●翻訳文には翻訳者氏名、所属および翻訳者の捺印／署名が必要です。

ダウンロード　指定書式の書類をダウンロード

インターネットエントリー登録、検定料支払い後、出願ページの「出願／出願確認」からダウンロードし、印刷してください。

外国人留学生科目選択型入試（Ⅰ期・Ⅱ期）出願に必要な書類

	書類の種類	注意事項ほか	様式
1	入学願書 ダウンロード	インターネット登録、検定料支払い後、ダウンロード・印刷したものを必ず提出してください。	指定書式
2	経歴書 ダウンロード	必ず指定の用紙を使用してください。志願者本人が黒ペンを使って直筆で記入してください。（鉛筆・フリクションペンは不可）	指定書式
3	志望理由書 ダウンロード	ダウンロード・印刷した所定の書式に手書きで記入してください。 ※所定のフォーマット内に収まるように記入してください。 ※フォーマットに字数の制限はありませんが、必ず欄内にまとめてください。 ※志望コース数によって枚数が異なります（1~2枚）。 ※所定のフォーマット以外の志望理由書は受理いたしません。 ※鉛筆書き不可。	指定書式
4	在留カード（該当者のみ）	表面・裏面両方のコピーを提出してください。裏面が無記入の場合でも必ずコピーを提出してください。更新手続中の場合、裏面に「更新許可申請中」のスタンプが押してあること。※海外在住により所持していない場合は提出不要です。	コピー
5	パスポート	氏名および顔写真が記載されたページのコピー（出願時点で最新のもの）を提出してください。	コピー
6	高等学校（後期中等教育機関）の卒業（見込）証明書	・1年以内に発行された原本 ・代理機関から発行されたものは不可 ・合否にかかわらず返却不可 ・電子版証明書（PDF含む）を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ可 ※卒業証書（diploma/毕业证书）ではなく卒業証明書（Graduation certificate/毕业证明书）が必要です。 以下の場合は次の1または2の方法を取ってください。 ●卒業証明書が発行されない場合 ●原本のみ1通しか発行されない場合 ●電子版証明書に個人の証明内容が確認できるQRコードやURL等の記載がない場合 1. 公証役場で公証した証明書 例）  2. 証明書（証書）の発行機関（出身校等）で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したもの	原本 （コピー不可） 翻訳

次ページへ続く

外国人留学生科目選択型入試（Ⅰ期・Ⅱ期）　出願に必要な書類

	書類の種類	注意事項ほか	様式
7	高等学校 (後期中等教育機関)の 成績証明書	・1年以内に発行された原本 ・入学年度から卒業年度まで、学期ごとに成績状況が記載されているもの。 ・日本の高等学校で修得した科目がある場合は、あわせて当該高等学校の成績証明書を提出すること。 ・代理機関から発行されたものは不可 ・合否にかかわらず返却不可 ・電子版証明書(PDF含む)を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ可 以下の場合は次の1または2の方法を取ってください。 ●原本のみ1通しか発行されない場合 ●電子版証明書に個人の証明内容が確認できるＱＲコードやＵＲＬ等の記載がない場合 1. 公証役場で公証した証明書 例) 公証書 ← 証明書原本のコピー(印) / 行証書証明文(印) / 証明書日本語または英語訳 / 行証書証明文日本語または英語訳 2. 証明書の発行機関(出身校等)で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したもの	原本 (コピー不可) 翻訳
8	留学経費支弁誓約書 ダウンロード	留学経費の支弁者または志願者本人が直筆で記入のこと。	指定書式
9	留学経費支弁者との 関係 (該当者のみ)	留学経費支弁者との関係を明らかにする書類を提出してください。 ※留学経費支弁者が親族(父母、祖父母、兄弟姉妹、伯(叔)父、伯(叔)母)の場合、提出は不要です。それ以外の場合、志願者と留学経費支弁者との関係や支弁する理由について、事情が詳しくわかる書類を作成し提出してください。	コピー可 翻訳
10	留学経費支弁者の 年間所得	留学経費支弁者の年間の所得などを公的に証明する書類を提出してください。[留学経費支弁誓約書]に記載された内容の前提となる公的書類一式を提出してください。 例) 会社員：年間所得証明書、預金残高証明書 自営業・フリーランス・退職後：預金残高証明書 ・1年以内に発行されたものに限ります。	コピー可 翻訳
11	日本語教育施設 出席状況証明書 (該当者のみ)	日本語学校等の日本語教育施設に在籍中の方は、日本語教育施設にて記入された、入学～出願時点までの「出席状況証明書」(様式自由)を提出してください。 ※日本語学校等に在籍していない方(すでに卒業した方も含む)は不要です。	原本 (コピー不可)
12	日本語試験の通知書類	下表のとおり、該当する書類を提出してください。 期日までに届かない場合、判定不能のため不合格となります。 **いずれか一つ**の書類を提出してください。 (1)日本語能力試験(JLPT)の場合 …**「認定結果および成績に関する証明書(原本)」**を提出。(コピー不可) ※改めてJEESに「証明書」を請求してください。なお提出された証明書原本は返却いたしません。 (2)日本留学試験(EJU)の場合 …**「受験票のコピー」**を提出。 【注意】複数回分の提出があった場合、一番最後に受験した回の分を採用します。 (1)日本語能力試験(JLPT)　コピー ~~不可~~　原本 可 ・認定結果及び成績に関する証明書 ・合否結果通知 ・日本語能力認定書 どれかひとつ、原本を提出してください。JLPTの場合、コピーは受け付けません。提出された書類は、どんな理由でも返却しません。 (2)日本留学試験(EJU)　コピー 可 受験票のコピーを提出を提出してください。受験番号がわかるものがあれば、成績は必要ありません。	指定あり
13	封筒貼付用宛名シート ダウンロード	市販の角2サイズ封筒(縦33.2㎝×横24.0㎝)に本票を貼付け、**簡易書留速達または持参し**提出してください。	指定書式

外国人留学生日本留学試験利用型入試 出願に必要な書類

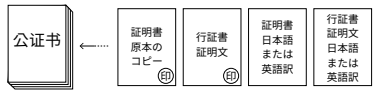
翻訳 証明書等が日本語・英語以外で書かれている場合

●翻訳文を添付してください（原本と翻訳文の両方を提出してください）。
●翻訳文には日本語学校や翻訳会社等で翻訳文が正確なものであるという証明を受けてください。
●翻訳文には翻訳者氏名、所属および翻訳者の捺印／署名が必要です。

ダウンロード 指定書式の書類をダウンロード

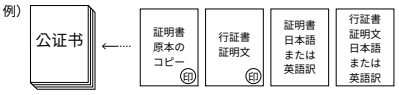
インターネットエントリー登録、検定料支払い後、出願ページの「出願／出願確認」からダウンロードし、印刷してください。

外国人留学生日本留学試験利用型入試 出願に必要な書類

	書類の種類	注意事項ほか	様式
1	入学願書 ダウンロード	インターネット登録、検定料支払い後、ダウンロード・印刷したものを必ず提出してください。	指定書式
2	経歴書 ダウンロード	必ず指定の用紙を使用してください。志願者本人が黒ペンを使って直筆で記入してください。（鉛筆・フリクションペンは不可）	指定書式
3	志望理由書 ダウンロード	ダウンロード・印刷した所定の書式に手書きで記入してください。 ※所定のフォーマット内に収まるように記入してください。 ※フォーマットに字数の制限はありませんが、必ず欄内にまとめてください。 ※志望コース数によって枚数が異なります（1~2枚）。 ※所定のフォーマット以外の志望理由書は受理いたしません。 ※鉛筆書き不可。	指定書式
4	在留カード	表面・裏面両方のコピーを提出してください。裏面が無記入の場合でも必ずコピーを提出してください。更新手続中の場合、裏面に「更新許可申請中」のスタンプが押してあること。	コピー
5	パスポート	氏名および顔写真が記載されたページのコピー（出願時点で最新のもの）を提出してください。	コピー
6	高等学校（後期中等教育機関）の卒業（見込）証明書	・1年以内に発行された原本 ・代理機関から発行されたものは不可 ・合否にかかわらず返却不可 ・電子版証明書（PDF含む）を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ可 ※卒業証書（diploma/毕业证书）ではなく卒業証明書（Graduation certificate/毕业证明书）が必要です。 以下の場合は次の1または2の方法を取ってください。 ●卒業証明書が発行されない場合 ●原本のみ1通しか発行されない場合 ●電子版証明書に個人の証明内容が確認できるQRコードやURL等の記載がない場合 1. 公証役場で公証した証明書 例）  2. 証明書（証書）の発行機関（出身校等）で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したもの	原本 （コピー不可） 翻訳

次ページへ続く

外国人留学生日本留学試験利用型入試　出願に必要な書類

	書類の種類	注意事項ほか	様式
7	高等学校 (後期中等教育機関)の 成績証明書	・1年以内に発行された原本 ・入学年度から卒業年度まで、学期ごとに成績状況が記載されているもの。 ・日本の高等学校で修得した科目がある場合は、あわせて当該高等学校の成績証明書を提出すること。 ・代理機関から発行されたものは不可 ・合否にかかわらず返却不可 ・電子版証明書(PDF含む)を提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ可 以下の場合は次の1または2の方法を取ってください。 ●原本のみ1通しか発行されない場合 ●電子版証明書に個人の証明内容が確認できるＱＲコードやＵＲＬ等の記載がない場合 1. 公証役場で公証した証明書  2. 証明書の発行機関(出身校等)で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したもの	原本 (コピー不可) 翻訳
8	留学経費支弁誓約書 ダウンロード	留学経費の支弁者または志願者本人が直筆で記入のこと。	指定書式
9	留学経費支弁者との 関係 (該当者のみ)	留学経費支弁者との関係を明らかにする書類を提出してください。 ※留学経費支弁者が親族(父母、祖父母、兄弟姉妹、伯(叔)父、伯(叔)母)の場合、提出は不要です。それ以外の場合、志願者と留学経費支弁者との関係や支弁する理由について、事情が詳しくわかる書類を作成し提出してください。	コピー可 翻訳
10	留学経費支弁者の 年間所得	留学経費支弁者の年間の所得などを公的に証明する書類を提出してください。[留学経費支弁誓約書]に記載された内容の前提となる公的書類一式を提出してください。 例)会社員：年間所得証明書、預金残高証明書 自営業・フリーランス・退職後：預金残高証明書 ・1年以内に発行されたものに限ります。	コピー可 翻訳
11	日本語教育施設 出席状況証明書 (該当者のみ)	日本語学校等の日本語教育施設に在籍中の方は、日本語教育施設にて記入された、入学～出願時点までの「出席状況証明書」(様式自由)を提出してください。 ※日本語学校等に在籍していない方(すでに卒業した方も含む)は不要です。	原本 (コピー不可)
12	日本留学試験(EJU) 受験票コピー	日本留学試験(EJU)受験票のコピーを提出してください。 ・2023年6月または11月、2024年6月または11月のいずれかの受験にて「日本語」以外に1科目以上受験した受験票のコピー ・受験番号がわかるものがあれば、成績は必要ありません 【注意】複数回分の提出があった場合、一番最後に受験した回の分を採用します。 ※日本語能力試験(JLPT)は対象外です。	指定あり
13	封筒貼付用宛名シート ダウンロード	市販の角2サイズ封筒(縦33.2㎝×横24.0㎝)に本票を貼付け、簡易書留速達または持参し提出してください。	指定書式

エントリー・出願の手続きの流れ

外国人留学生体験授業型入試	外国人留学生入試	外国人留学生科目選択型入試	外国人留学生日本留学試験利用型入試
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○

1. 証明写真データを用意

P39 <4. エントリー /出願登録を行う>の際に証明写真をアップロードしますので、事前にご用意ください。写真は3ヵ月以内に撮影した、半身脱帽、正面、背景なしのもの。※アプリで顔を加工したものは不可。

2. 大学WEBサイト「外国人留学生入学試験」にアクセス

必ず「外国人留学生用」のインターネット出願サイトであるか確認してください。
日本人用の入試にエントリー・出願した場合、受験できませんのでご注意ください。

https://www.kyoto-art.ac.jp/admission/foreign_student/

3. インターネット出願サイトのアカウントを作成しログインする

大学WEBサイト「外国人留学生入学試験」にある各入試ごとの「エントリー・出願方法はこちら」もしくは「外国人留学生インターネット出願ページ」ページより「インターネット出願サイト<Post@net>」にアクセスしてください。

① アカウント作成

インターネット出願サイト<Post@net>の「アカウント作成」をクリックし、「利用規約」「個人情報の取り扱いについて」を確認・同意したのち、メールアドレスとパスワードを登録してください。登録したメールアドレス宛に仮登録メールが送信されますので、60分以内にメール本文のリンクをクリックし、登録を完了させてください。登録したメールアドレスは、ログイン時およびログイン後の各操作に利用します。

② ログイン

登録したメールアドレス宛に認証コードが送信されますので、入力しログインしてください。

注意｜登録したメールアドレス宛てに認証コード(メール)が届かない場合、ご使用の端末機器やご利用の通信会社の設定にて迷惑メールと認識された可能性があります。ドメイン(@postanet.jp)を受信指定してください。ドメインを受信指定しても、メールが届かない場合は、アドミッション・オフィス(0120-591-200)までお問い合わせください。

③ お気に入り登録

注意 「学校一覧」から「京都芸術大学」を検索し、お気に入り登録してください。お気に入り登録をしないと結果通知等のメッセージが受信できないため必ず登録してください。

④ 出願登録

③が完了後、「出願」をクリックして出願ページを開き、「出願登録」をクリックしてください。

インターネット出願サイト<Post@net>
※画像は2024年度入試のもののため、デザイン等に変更があることがあります。

次ページへ続く

エントリー・出願の手続きの流れ

外国人留学生体験授業型入試	外国人留学生入試	外国人留学生科目選択型入試	外国人留学生日本留学試験利用型入試
○	○	○	○
×	○	○	○

4. エントリー・出願を行う

① 「外国人留学生」用の出願サイトを選択。

※日本人等用の出願サイトから入試にエントリー・出願した場合、受験できませんのでご注意ください。

② 入試区分の選択

外国人留学生の場合は、入試名称に「外国人留学生」が付きます（外国人留学生体験授業型入試Ⅰ期など）。

③ 志望コース・試験会場・受験科目の選択

④ 志願者情報（氏名・住所等）の入力

注意

- ※ 緊急連絡先は同じ入試の出願者以外で入力してください。
- ※ 志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか、十分に確認してください。特に住所の番地抜けが多く見受けられます。
- ※ 登録完了後に住所等の個人情報に変更がある場合は、アドミッション・オフィスまでご連絡ください。

⑤ エントリー・出願登録番号の確認

出願登録番号確認画面には、出願登録番号（8桁）が表示されます。

5. 検定料を納入する

外国人留学生体験授業型入試	納入不要
外国人留学生入試・外国人留学生科目選択型入試	35,000円
外国人留学生日本留学試験利用型入試	15,000円

① 支払い方法の選択

・クレジットカード

支払い金額を確認後、カード情報を入力し、決済を完了させてください。
決済完了後に入金完了メールが通知されます。

【利用可能なクレジットカード】 VISA

・コンビニ・ペイジー

「支払い確認番号確認画面」に支払い時に必要な番号が表示されますので、必ずメモしてください。

※日本国外から支払う場合「コンビニ」「ペイジー」は利用できません。

② 検定料の納入

インターネット出願登録をした日の翌日23:59まで（インターネット出願登録期間最終日に出願登録した場合は翌日16:00まで）に、検定料をお支払いください。支払い期限を過ぎますと、登録された内容での検定料支払いができなくなります。

※一旦振り込まれた（決済された）検定料は、願書の提出が無かった場合などを含め理由のいかんにかかわらず返金いたしません。

インターネット出願および検定料の納付だけでは出願完了となりません。
必ず期間内に＜6. 出願書類の印刷・提出＞を行ってください。

次ページへ続く

エントリー・出願の手続きの流れ

外国人留学生 体験授業型入試	外国人留学生入試	外国人留学生 科目選択型入試	外国人留学生 日本留学試験利用型入試
○	○	○	○

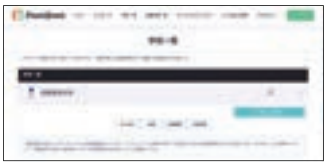
6. エントリー・出願書類の印刷・提出

出願書類　※P29-37を必ず確認のこと

大学へ提出する書類は、体験授業型入試とそれ以外の入試で異なります。
所定の書類を提出してください。

①【体験授業型入試】エントリー申込書・経歴書・封筒貼付用宛名シートを印刷する
【体験授業型入試以外】入学願書・経歴書・志望理由書・経費支弁誓約書・
封筒貼付用宛名シートを印刷する

検定料の支払い後に届く「入金確認メール」に記載されているURL、もしくは、インターネット出願サイトへログインし、メニューの「出願内容一覧」より本学の「出願内容を確認」を選択し、所定の書類をダウンロード・印刷してください。
体験授業型入試はこの時点での支払いはありません。登録完了後にダウンロード可能となります。
※ページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。


インターネット出願サイト＜Post@net＞

②【体験授業型入試】経歴書を記入する
【体験授業型入試以外】経歴書・志望理由書・経費支弁誓約書を記入する

ダウンロード・印刷した所定の書類に、必要事項を手書きで記入してください。
※所定のフォーマット内に収まるように記入してください。志望理由書は、志望コース数によって枚数が異なります(1~2枚)。※鉛筆書き不可。
※必ず所定のフォーマットを使用してください。

志望理由書

③ 郵送または窓口持参による提出

ダウンロード・印刷した封筒貼付用宛名シートを市販の角2サイズの封筒に貼り、出願書類一式を入れ、簡易書留・速達で郵送または、窓口持参で提出してください。

郵送の場合

送付先｜〒606-8271　京都市左京区北白川瓜生山２番地 116 号
京都芸術大学　アドミッション･オフィス

持参の場合

アドミッション･オフィス 窓口受付時間
月～土 9：00 ～ 17：30（日・祝休）
※年末年始期間の窓口受付は行っておりません。
※持参の場合も市販の封筒に封筒貼付用宛名シートを貼付してください。

海外在住者

「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた封筒に書類一式を入れてください。
その封筒を国際宅急便(EMS, DHL,UPS,FedEX等)の専用封筒に入れて発送してください。
送付先｜Kyoto University of the Arts Admission office
2-116, Uryuyama,Kitashirakawa,Sakyo-ku,Kyoto,606-8271 JAPAN
※出願書類の到着に関する問い合わせには対応しません。
利用した輸送機関の追跡サービスで確認してください。

すべての手続きを期間内に完了することによってエントリー／出願が正式に受理され、受験票が発行されます。出願登録・検定料納入(体験授業型入試を除く)・出願書類提出のいずれかが行われなかった場合は、エントリー／出願を受理できません。

次ページへ続く

エントリー・出願の手続きの流れ

外国人留学生 体験授業型入試	外国人留学生入試	外国人留学生 科目選択型入試	外国人留学生 日本留学試験利用型入試	
○	○	○	○	**7. 受験票のダウンロード・印刷**
○	○	○	○	**8. 受験**
○	×	×	×	**9. 出願手続** ※エントリー(出願可否)結果発表で「出願可」通知を受けた方に限る

7. 受験票のダウンロード・印刷

郵送されたエントリー・出願書類を確認したのちに、「受験票」を発行します。書類到着後、数日程度かかります。

インターネット出願サイト＜Post@net＞

エントリー／出願時に登録されたメールアドレスへ受験票発行通知メールを送りますので、各自でダウンロード、印刷し、受験時にお持ちください。受験票のダウンロードはインターネット出願サイトの「出願登録／出願確認」ページから行ってください。「受験票」は合否発表まで大切に保管してください。

※体験授業型入試は試験日の前日、その他の入試は試験日の3日前になっても受験票発行通知メールが届かない場合は、アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。

8. 受験

9. 出願手続 ※エントリー(出願可否)結果発表で「出願可」通知を受けた方に限る

体験授業型入試

エントリー(出願可否)結果発表で「出願可」通知を受けた方で、
出願される方のみ、受験(体験授業受講)後に出願手続が必要となります。
出願手続の詳細は、「出願可」通知に同封する出願手続要項を確認してください。
なお、出願は本学への入学を前提とした「専願」になります。

検定料

35,000円または15,000円

＊2024年2月～9月のオープンキャンパスに参加した方は、検定料15,000円

出願書類 ※P29-37を必ず確認のこと

・入学願書：出願可通知に同封したもの
・証明写真：出願可通知に同封の入学願書に貼付
・検定料　：出願可通知に同封の払込取扱票を使用して振込
・経費支弁誓約書：出願可通知に同封されているもの
・各種証明書

入学試験共通の注意事項

受験上の注意

受験票	受験票は各自ダウンロードのうえ、印刷し持参してください。 試験の3日前(体験授業型入試Ⅰ期・Ⅱ期は試験日前日)になっても受験票発行通知メールが届かない場合は、 アドミッション・オフィスにお問い合わせください。受験票は必ず携行し、試験時間中は所定の場所に提示してください。 試験当日に忘れた場合は、受付に申し出て仮受験票の発行を受けてください。
試験会場	試験会場へのアクセスは、P45の案内図を参照してください。試験教室、その他の必要事項は試験当日に掲示等にてご案内します。
交通手段	入試当日は、公共交通機関をご利用ください。京都駅から本学へ向かうシャトルバス等の運行はありません。 本学に駐車場はありません。大学前の道路は京都市バスが運行する道路でバス停もあるため、 送迎のための駐停車はご遠慮ください。また、送迎目的による周辺の商業施設への駐車は固く禁じます。
持参物	本募集要項に記載の試験科目ごとの携行品(使用可能用具)を持参してください。忘れた場合でも貸出は行いません。
遅　刻	試験開始時刻より20分以上遅刻の場合は、試験放棄(欠席)とみなし受験できません。20分未満の遅刻は受験を認めますが、試験時間の延長は行いません(気象災害や公共交通機関による遅れであっても、試験時間の延長は行いません)。ただし、代替の交通機関がない状況で、特定の公共交通機関が20分以上運行を見合わせ(乗っている電車が止まる、駅で足止めになる等)し、その結果、試験会場到着が20分以上遅れる場合は受験を認める場合があります。直ちにアドミッション・オフィスへ電話連絡し、「遅延証明書」をお持ちください(事後提出も可)。なお、バス・タクシー・自家用車の事故・渋滞等による遅れは対象となりません。
入構禁止日時	試験の前日は会場内への立ち入りを禁止する時間帯があります。
入構時間	試験当日の入構は、京都会場は8:30、その他の会場は9:00からです。試験開始20分前には、着席してください。 外国人留学生入試以外の入試で、集合時間の指定はありません。各自でご判断ください。
服　装	服装は自由です。上履きも必要ありません。合否判定には一切関係ありません。 ただし、体験授業型入試においては、服装を指定しているコースがあります。
携帯電話・ スマートフォン・ スマートウォッチ等	試験時間中は電源を切り、かばん等にしまってください。身につけていた場合は不正行為とみなします。 万が一、試験時間中に携帯電話が作動した場合は、監督者が試験会場外へ持ち出し、試験終了まで保管します。 ただし、体験授業型入試において、スマートフォンを使用するコースはこの限りではありません。
時　計	試験会場に時計はありませんので、必ず時計を持参してください。携帯電話類を時計代わりに使用することは認めません。
不正行為	受験に際し、不正行為、周囲に迷惑のかかる行為等があった場合は、受験の停止を命じます。
付添者	受験者の付添者の入構はできません。付添が必要な場合は、事前にアドミッション・オフィスに連絡をしてください。
個人成績開示	本学では、科目選択型入試において、受験生全員に対して個人成績を開示します。
入試作品	入試作品(ポートフォリオを除く)を本学の入試資料に掲載したり、公に展示する場合があります。あらかじめご了承ください。
学外での配布物	試験当日、学外(敷地外)で配られる案内やビラは、本学とは一切関係がありません。 また、本学周辺や駅周辺において有料で合否通知を行う業者がいる場合がありますが、本学とは一切関係がありません。
その他	自然災害などの不測の事態により、緊急対応措置を行う場合があります。

入学試験における感染症の対応について

試験当日、学校保健安全法および学校保健安全法施行規則で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験生等への感染のおそれがありますので、受験はできません。病状毎の治癒期間等は、医療機関の指示に従ってください。なお、試験当日に欠席をした場合は、理由の如何を問わず追試験の実施や検定料の返金はいたしません。

障がいのある方の受験について

障がいがあり、受験および就学に際して特別な配慮が必要な場合は、エントリー・出願前に必ずアドミッション・オフィスに連絡し、面談を受けてください。面談では、受験上の配慮および修学上の支援についての対話をします。

(1) 面談の申し込みは、「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請フォーム」より、各入学試験実施日の1ヵ月前までに行ってください。
　フォーム送信後、アドミッション・オフィスから電話連絡をいたします。5日以内に連絡がない場合はお電話ください。
(2) 面談の内容により「診断書」の提出を求める場合があります。(主治医の所見等の提出を求める場合があります。)
(3) 受験において特別配慮が可能となるのは京都会場のみです。

【お問合せ先】
アドミッション・オフィス
0120-591-200　nyugaku@office.kyoto-art.ac.jp

【受験上及び修学上の配慮に関する事前相談】
https://www.kyoto-art.ac.jp/admission/disabilities/

Q&A　よくある質問

エントリー・出願に関して

Q. 出願資格があるかどうか事前に確認することはできますか？
A. 事前確認は行っていません。出願時に、提出した出願書類で確認します。

Q. 出願登録内容を確認することはできますか？
A. インターネット出願サイトの「出願登録 / 出願確認」ページにアクセスし、確認してください。

Q. インターネット出願サイトに登録する時のメールが届きません。どうすればよいですか？
A. ご使用の端末機器やご利用の通信会社の設定にて迷惑メールと認識された可能性があります。
ドメイン(@postanet.-jp)を受信指定してください。出願登録完了時、検定料支払い完了時、受験票発行時に登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。ドメインを受信指定しても、メールが届かない場合は、アドミッション・オフィス(0120-591-200)までお問い合わせください。

Q. 最終学歴が大学卒業なので、大学の証明書を提出すればよいですか？
A. いいえ、ちがいます。最終学歴ではなく、出願資格である証明書を提出してください。
P.02「年齢・学歴」❷学歴の出願資格の証明書が必要です。

Q. 海外から取り寄せている書類が間に合いません。他の書類と別で送ることはできますか？
A. できません。全ての書類、指定された提出物をそろえて提出してください。基本的に全て揃っていなければ受理できません。

Q. 証明書書類に発行年月日がありません。どうすればよいですか？
A. 発行日が証明できる書類(申請書や受領書)を同封してください。

Q. 入力内容の間違いに気づきました。どうすればよいですか？
A. 外国人留学生体験授業型入試
アドミッション・オフィス(0120-591-200)までお問い合わせください。
なお、インターネットエントリー登録期間後のエントリー内容の変更は受け付けません。

外国人留学生入試・外国人留学生科目選択型入試・外国人留学生日本留学試験利用型入試
【検定料を納付していない場合】　P39＜4. エントリー・出願を行う＞からやり直してください。古い登録を消去することはできませんので、使用せずにそのままにしてください。
【検定料を納付した場合】　検定料を納入し出願登録が完了した場合、志望コース、志望順位を含む登録内容の修正はできません。検定料支払い後の出願情報の住所・氏名・電話番号等に誤りや変更が生じた場合は、アドミッション・オフィス(0120-591-200)までお問い合わせください。

Q. 合格の結果通知が届きません。
A. 出願時の住所から転居していませんか？
転居している場合は、速やかにアドミッション・オフィスまで連絡してください。また、今後の郵送物が届くように郵便局へ転居届を提出してください。友人等同居人がいる場合、表札氏名もお知らせください。転居しておらず、結果発表日から3日経過しても届かない場合はアドミッション・オフィスまで連絡してください。

Q. 日本に来日してから日本語学校に通っている日数が少ないため、日本語教育施設の出席状況証明書が出願時に発行されません。
A. 提出は不要です。

Q. 海外在住者でpost@netの登録の時、住所欄の文字数が足りません。
A. post@net登録では省略してもかまいません。経歴書に正しい住所を書いてください。

Q&A　よくある質問

エントリー・出願に関して

Q. 郵送した提出書類が届いているかを確認するにはどうしたらよいですか？

A. 出願書類の到着に関する問い合わせには対応しません。利用した輸送機関の追跡サービスで確認してください。各社WEBサイトより確認することができます。到着済みの状態 となっていれば、受付はされています。書類不備などがある場合にのみ大学より連絡を行う場合があります。

Q. 出願書類を返却してもらうことはできますか？

A. 一旦受理した出願書類および検定料は、理由のいかんにかかわらず返還いたしません。出願書類についてはP 30-37の全てがあてはまります。

Q. 日本語能力の日本留学試験（EJU）の「日本語」の得点は何点以上取得で合格となりますか？

A. 公表はしていません。

Q. 経費支弁者の年間所得証明書で預金残高証明書を提出する予定だが、預金はいくら必要ですか？

A. 日本に留学し、留学費用が支払えるかを判断するための書類です。現在の預金残高の証明を提出してください。
（発行１年以内の証明書）

入学試験に関して

Q. 他大学との併願は可能ですか？

A. 外国人留学生体験授業型入試

可能です。ただし体験授業受講後「出願可」通知を受け、出願手続きに進む場合は専願※となり辞退はできません。

※専願・・・合格した場合は必ず入学することを前提とした受験方式。

外国人留学生入試・外国人留学生科目選択型入試・外国人留学生日本留学試験利用型入試
他大学と併願することは可能です。

Q. 試験を受けるときに持参するものはありますか。

A. 受験票を持参してください。

外国人留学生 体験授業型入試	体験授業を受けるときの持参物があります。各自で準備をして体験授業を受けてください。 詳細はP8-19を確認してください。
外国人留学生 科目選択型入試	各科目ごとの必要な携行品は、P25を確認してください。 試験時の用具の貸し出しはいたしません。

エントリー・出願時のよくあるまちがい

❶インターネット出願（エントリー）登録をする際に、
住所の番地抜け、アパート、マンションの部屋番号が抜けていることが多いです。正しく住所を登録してください。

❷外国人留学生であるが日本人（等）用でエントリー・出願をしてしまった場合は、
大学ＷＥＢサイト「外国人留学生入学試験」からエントリー・出願をやり直してください。
※外国人留学生の場合は入試名に全て「外国人留学生」が付いています。

❸経費支弁者の年間所得証明書を預金残高証明書ではなく取引明細書を提出している。
銀行で預金残高証明書（Deposit balance certificate）を発行してもらい提出してください。
通帳のコピーや利用証明書、明細書（Specification）ではなく証明書（certificate）が必要です。

試験会場

京都会場

〈京都 瓜生山キャンパス〉

■JR「京都駅」より

A1のりば・市バス５系統
岩倉行「上終町（カミハテチョウ）・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車（所要時間約50分）

■地下鉄「北大路駅」（北大路バスターミナル）より

赤Bのりば・市バス204系統循環
銀閣寺方面「上終町（カミハテチョウ）・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車（所要時間約15分）
※地下鉄北大路駅へは地下鉄京都駅より約15分

■京阪「出町柳駅」より

①市バス上終町３系統
上終町（カミハテチョウ）・瓜生山学園 京都芸術大学前行「上終町（カミハテチョウ）・瓜生山　学園 京都芸術大学前」下車（所要時間約15分）※バス停は今出川通沿いです
②叡山電車（京阪出町柳駅乗りかえ）茶山（チャヤマ）・京都芸術大学駅下車、徒歩約10分

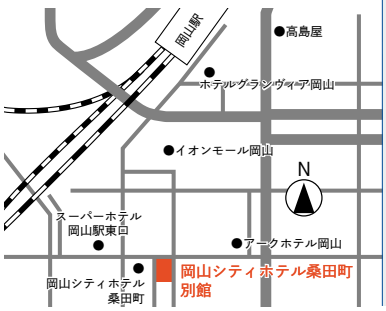
■阪急「京都河原町駅」より

①河原町Hのりば・市バス５系統
岩倉行「上終町（カミハテチョウ）・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車（所要時間約30分）
②河原町Gのりば・市バス上終町３系統
上終町（カミハテチョウ）・瓜生山学園 京都芸術大学前行「上終町（カミハテチョウ）・瓜生山　学園 京都芸術大学前」下車（所要時間約30分）

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。
※本学には駐車場がありません。車・バイクでの来学はご遠慮ください。※本学の最寄りのバス停は「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」です。

岡山会場（外国人留学生科目選択型入試Ⅰ期）

〈岡山シティホテル桑田町別館〉

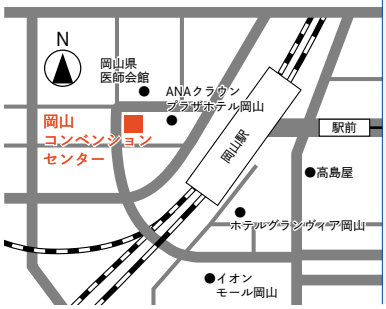


所在地
岡山市北区桑田町2－21

アクセス
JR「岡山駅」東口より
徒歩約7分

岡山会場（外国人留学生科目選択型入試Ⅱ期）

〈岡山コンベンションセンター〉



所在地
岡山県岡山市北区駅元町14-1

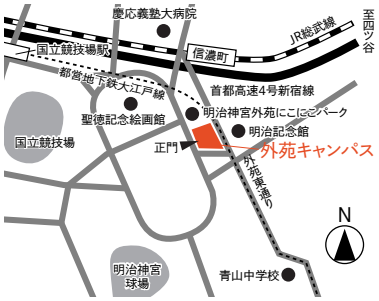
アクセス
JR岡山駅中央改札口より
徒歩約3分

※岡山会場は、外国人留学生科目選択型入試Ⅰ期と
外国人留学生科目選択型入試Ⅱ期で会場が異なります。
ご注意ください。

自宅（滞在場所）から試験会場までの経路は
必ず事前に確認してください。

東京会場

〈京都芸術大学 外苑キャンパス〉

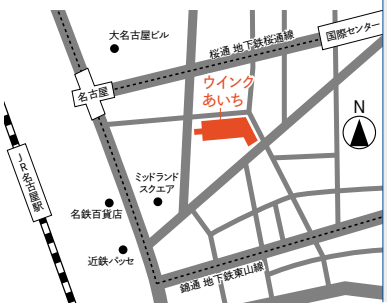


所在地
東京都港区北青山1-7-15

アクセス
JR総武線「信濃町駅」より
改札を左折、徒歩5分
東京メトロ半蔵門線・銀座線・
都営地下鉄大江戸線「青山一丁
目駅」0番出口より、徒歩約10分

名古屋会場

〈愛知県産業労働センター ウインクあいち〉

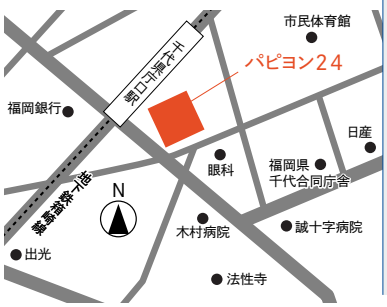


所在地
名古屋市中村区名駅4丁目
4-38

アクセス
JR「名古屋駅」桜通口より
ミッドランドスクエア方面
徒歩5分
ユニモール地下街5番出口
徒歩2分

福岡会場

〈パピヨン24〉



所在地
福岡市博多区千代1-17-1

アクセス
地下鉄「千代県庁口駅」
４番出口直結
西鉄バス停「千代町」下車すぐ

合否判定

すべての入学試験にて、以下の①～③により総合的に判定します。

①個々の入学試験の結果
②日本語試験ー下記いずれかの日本語試験の結果
・日本学生支援機構（JASSO）主催の日本留学試験（EJU）「日本語」（2023年6月・11月、2024年6月・11月実施分に限る）
・日本国際教育支援機構（JEES）主催の日本語能力試験（JLPT）「N2 レベル以上」（2022年12月、2023年7月・12月、2024年7月実施分に限る）
※外国人留学生日本留学試験利用型入試についてはJLPTは対象外です。
③提出書類

外国人留学生体験授業型入試

体験授業型入試は受験したすべてのコースで「出願可」となる場合があり、志望順位に関わらず出願（進学）するコースを選ぶことができます。
そのため、Ⅰ期は最大3 コース、Ⅱ期は最大2コースで「出願可」となる場合があります。
ただし、情報デザイン学科は4 コース共通で体験授業を行うため、情報デザイン学科内でのコース併願をした場合は、Ⅰ期は最大6 コース、Ⅱ期は最大5 コースで「出願可」となる場合があります。

外国人留学生入試・外国人留学生科目選択型入試・外国人留学生日本留学試験利用型入試

提出書類（志望理由書・各種証明書など）と試験結果により総合的に判定します。
2 コース以上併願し、複数のコースで合格基準に達した場合は、志望順位の高いコースのみ合格となります。同一コースで試験科目を変えて複数の科目を受験した場合、成績順位の高い科目で判定します

重　要

「留学査証」の発給を受けられなかった場合について
最終審査に合格し、必要な入学手続きを完了されれば、「入学許可書」を発行します。この「入学許可書」が発行された後で、日本での留学に必要な、「留学査証」の申請手続きを日本国の入国管理局へ行うことになります。万一、「留学査証」の発給を受けられなかった場合、「入学許可」は取り消しとなります。あらかじめご了承ください。
※合格が「留学査証」の新規発給を保証するものではありません。

入学手続

入学手続は「入学手続時納入金」の完納をもって完了し、完納された方に「入学許可書」を送付します。
「入学手続時納入金」とは、以下３つを合わせたものです。
・入学申込金（250,000円）
・2025年度学費（授業料＋施設・設備費）※入学手続時も前期分納入または年間納入を選択できます
・学生預り金
※後期分の学費については、例年入学後の９月20日頃が納入期限となっています。
※入学手続方法の詳細は、合格通知に同封される「入学手続要項」をご覧ください。

【注意事項】
・手続締切日以降の納入は認めません。各指定期日までに手続きを行わない場合は、
　入学を辞退したものとみなします。
・入学手続時納入金の分納や延納の制度はありません。
・一旦納入された入学申込金（入学金）は理由のいかんに関わらず返還しません。
・入金の完了通知（入学許可書）は、各手続締切日から一週間程度で発送します。
・入金完了に関する問い合わせには対応しません。

2025年度 学費

学科	コース	授業料	施設・設備費
	日本画 油画 写真・映像 染織テキスタイル 総合造形	年間分　1,320,000円 （前期分　660,000円）	年間分　320,000円 （前期分　160,000円）
	アートプロデュース	年間分　1,050,000円 （前期分　525,000円）	年間分　100,000円 （前期分　50,000円）
	文化財保存修復・歴史遺産		年間分　130,000円 （前期分　65,000円）
キャラクターデザイン	キャラクターデザイン	年間分　1,320,000円 （前期分　660,000円）	年間分　350,000円 （前期分　175,000円）
	マンガ		年間分　300,000円 （前期分　150,000円）
情報デザイン	ビジュアルデザイン イラストレーション ゲームクリエイション 映像クリエイション	年間分　1,320,000円 （前期分　660,000円）	年間分　350,000円 （前期分　175,000円）
プロダクトデザイン	プロダクトデザイン クロステックデザイン		
空間演出デザイン	空間デザイン ファッションデザイン	年間分　1,320,000円 （前期分　660,000円）	年間分　300,000円 （前期分　150,000円）
環境デザイン	建築・インテリア・環境デザイン		
映画	映画製作 俳優	年間分　1,320,000円 （前期分　660,000円）	年間分　350,000円 （前期分　175,000円）
舞台芸術	演技・演出 舞台デザイン		
文芸表現	クリエイティブ・ライティング	年間分　1,050,000円 （前期分　525,000円）	年間分　100,000円 （前期分　50,000円）
こども芸術	こども芸術	年間分　1,320,000円 （前期分　660,000円）	年間分　300,000円 （前期分　150,000円）

学生預り金

種類	金額	備考
学生教育研究災害傷害保険料 学研災付帯賠償責任保険料	4,660円（保険期間4年：入学年度のみ）	正課・課外活動中の災害や事故、通学中の傷害等に備えて、 全員加入する保険です。
メディカルアシスタンスサービス ・補償制度費用保険	2,260円（2025年度分：毎年必要）	24時間・年中無休のコールセンターとの連携による緊急時対応。 さらに、中国語、韓国語、英語を含む18言語に対応している サービス・保険です。
学生会費	5,000円（2025年度分：毎年必要）	学生が運営する行事（学園祭等）の運営費や クラブ活動補助などにあてられます。
合計	11,920円	

入学辞退・入学取消

入学辞退　辞退連絡および「辞退届」請求期限：2025年3月31日(月)17時まで

入学手続後、他大学合格等により入学を辞退する場合は、電話にて「辞退届」をアドミッション・オフィスに請求してください。入学申込金を除く入学手続時納入金を返還します。

※辞退することが確定してから「辞退届」を請求してください。見込段階での請求はご遠慮ください。
※「辞退届」を受理してから返金まで、半月から1か月程度かかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
　なお、辞退される場合は速やかにご連絡ください。
※請求期限を過ぎた場合、理由の如何に関わらず返還できません。
※外国人留学生体験授業型入試Ⅰ期・Ⅱ期は、専願入学方式です。一旦納入された入学手続時納入金は返還されません。

入学取消

2025年3月31日までに出願資格(P02)を満たすことができなかった場合、入学許可後であっても入学許可を取り消します。入学取り消しとなった場合、入学申込金を除く入学手続時納入金を返還します。

※請求期限を過ぎた場合、理由の如何に関わらず返還できません。

その他の入学試験

以下の入学試験に関する情報は、この募集要項には掲載しておりません。また、インターネットを利用した出願ではありません。下記入学試験の受験を希望される方は、大学ホームページ(https://www.kyoto-art.ac.jp)より募集要項・出願書類をダウンロードしてください。

2・3年次編入学

入試種別	出願資格事前審査	出願期間	試験日	実施会場	一次審査合格発表	最終合格発表
外国人留学生編入学試験	10/3(木) ～16(水)必着	10/28(月) ～11/2(土)必着	11/21(木)	京都	12/4(水)	2025年 1/8(水)

大学院

入試種別	
大学院入学試験(修士・博士課程)	詳細は募集要項をご覧ください。

入学後に必要となる教材・機材

入学後、学科・コースにより、パソコン・ソフト・画材等を購入する必要があります。入学予定の方に教材等の案内を大学より2025年2～3月にご案内しますのでご確認ください。なお、購入機材を変更する場合があります。

※同等品をお持ちの場合は新たに購入する必要はありませんが、特にパソコンやソフトなどは、特別価格にて購入できますので、大学での購入をお勧めします。また、在学中はMicrosoft Office365 Pro Plusが無償で利用できます。

学科	コース	教材・機材	昨年度参考価格
美術工芸	日本画	基本画材(顔料、墨、岩絵具、刷毛、参考図書など) ノートパソコン(Mac推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト)	約100,000円 約204,000円～ 約92,000円
	油画	基本画材(油絵具、筆、パレット、画用液など)※すべて新規購入の場合 ノートパソコン(Mac推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト)	約96,000円 約204,000円～ 約92,000円
	写真・映像	ノートパソコン(MacBook Pro推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) デジタルカメラ(レンズ交換ができるデジタルカメラの購入が必要。中古でも可)	約258,000円～ 約92,000円 約100,000円～
	染織テキスタイル	染織材料セット(刷毛、スケールなど) ノートパソコン(Mac推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) ミシン 教科書「染織演習 染」・「染織演習 織」	約19,000円 約204,000円～ 約92,000円 約30,000円 7,500円
	総合造形	防塵用マスク、グラインダー、その他教材 ノートパソコン(MacBook Pro推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) 3Dモデリングソフト用Wacomペンタブレット、ワイヤレスマウス等	約65,000円～75,000円程度 約258,000円～ 約92,000円 約10,000円～
	アートプロデュース	ノートパソコン(Mac推奨) ソフト(セキュリティソフト) ソフト(Adobe CC) 授業選択によって購入が必要な場合があるため、入学後に購入検討を推奨	約120,000円～約150,000円 約10,000円～ 1年間 20,000円
	文化財保存修復･歴史遺産	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(セキュリティソフト) ソフト(Adobe CC) 授業選択によって購入が必要な場合があるため、入学後に購入検討を推奨	約120,000円～約140,000円 約10,000円 1年間 20,000円
キャラクターデザイン	キャラクターデザイン	ノートパソコン必携(MacまたはWindows) iPadまたはwacom Apple Pencil(iPad購入の場合必要) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/他履修する授業によりソフトが異なる)	約180,000円～約260,000円 約45,000円 約13,000円 約110,000円
	マンガ	ノートパソコン(Mac推奨) iPadシリーズ＋Apple Pencil ソフト(Adobe CC 4年間使用料/MORISAWA PASSPORT/セキュリティソフト)	約160,000円～220,000円 約70,000円 約110,000円
情報デザイン	ビジュアルデザイン	ノートパソコン(MacBook Pro) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/ MORISAWA PASSPORT/セキュリティソフト) カッティングマット、定規、画材など	約260,000円 約160,000円 約10,000円
	イラストレーション	ノートパソコン(MacBook Pro) iPad、Apple Pencil ソフト(Adobe CC 4年間使用料/ MORISAWA PASSPORT/セキュリティソフト) カッティングマット、定規、画材など	約260,000円 約58,000円 約160,000円 約10,000円
	ゲームクリエイション	ノートパソコン(windows推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/ MORISAWA PASSPORT/セキュリティソフト) カッティングマット、定規、画材など	約190,000円 約160,000円 約10,000円
	映像クリエイション	ノートパソコン(windows推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/ MORISAWA PASSPORT/セキュリティソフト) カッティングマット、定規、画材など	約190,000円 約160,000円 約10,000円
プロダクトデザイン	プロダクトデザイン	ノートパソコン(Winのみ) ※学校指定の3DCAD対応パソコンの購入が必要 ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) 製図デザイン用具(工具・防毒マスク・教材費を含む) 1年次授業材料費 カメラ(エントリークラス)	約200,000円 約90,000円 約50,000円 約20,000円 約60,000～140,000円
	クロステックデザイン	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(セキュリティソフト) ソフト(Adobe CC。2年次以降、授業選択によっては購入が必要) 1年次授業材料費(履修希望者のみ) カメラ(エントリークラス)	約180,000～200,000円 約10,000円 1年間20,000円 約20,000円 約60,000～140,000円
空間演出デザイン	空間デザイン	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) カッティングマット、定規、資料集など	約130,000円～約210,000円 約90,000円 約20,000円
	ファッションデザイン	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) 基本制作道具、定規など パターンメイキングボディ(2年次以降、授業選択によっては購入が必要) ジュエリー制作道具(2年次以降、授業選択によっては購入が必要)	約130,000円～約210,000円 約90,000円 約30,000円 約50,000円～約60,000円 約10,000円
環境デザイン	建築･インテリア･ 環境デザイン	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) 製図用具(A2平行定規、その他各種定規など)	約130,000円～約210,000円 約90,000円 約50,000円～85,000円
映画	映画製作 俳優	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト)	約150,000～260,000円 約110,000円
舞台芸術	演技・演出	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(セキュリティソフト) 作業用ヘルメット、安全スニーカーなどの安全装備(授業選択によっては購入が必要)	約130,000円～150,000 約10,000円 約5,000円
	舞台デザイン	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(セキュリティソフト) タブレット(iPad他可) 作業用ヘルメット、安全スニーカーなどの安全装備	約150,000円～250,000円 約10,000円 約58,000円 約5,000円
文芸表現	クリエイティブ・ ライティング	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(セキュリティソフト) ソフト(Adobe CC) 授業選択によって購入が必要な場合があるため、入学後に購入検討を推奨	約120,000円～約150,000円 約10,000円～ 1年間 20,000円
こども芸術	こども芸術	ノートパソコン(MacBookAir) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) 絵画用具など	約180,000円～210,000円 約92,000円 約10,000円

※Adobe CC(アドビ クリエイティブクラウド)

留学生活の支援について／ 住宅支援について

本学では大学生活に関すること、奨学金や在留資格等に関すること、悩みについてなど、留学生が日本で留学生活をより有意義に送れるよう、みなさんの立場に立ったさまざまな支援を行っています。

経済援助

【学外奨学金】

・私費外国人留学生学習奨励費（日本学生支援機構）
・（公財）ロータリー米山記念奨学会奨学金
・（公財）神林留学生奨学会奨学金
・（公財）朝鮮奨学会奨学金
・（公財）平和中島財団奨学金
・（公財）張鳳俊（チャン ポンジュン）奨学基金奨学金

※上記の学外奨学金は年度によって、募集状況が異なる場合があります。

住宅支援について

日本で部屋を借りるときは、保証人が必要です。京都芸術大学では、希望者に㈱グローバルトラストネットワークス（GTN）の保証プランを紹介しています。
日本国内に保証人となる人がいない外国人留学生は、この保証人代行会社を利用することができます。
【注意】大学および大学教職員は、住宅賃貸契約その他の身元保証人になることはできませんのでご了承ください。

グローバルトラストネットワークス（GTN）　https://www.gtn.co.jp/

GTN保証審査の流れ

●審査時必要書類　※不動産会社に提出してください。
①在留カード　表・裏
②学生証　表・裏（入学前の場合、入学許可書・合格通知でも可）
③パスポートの顔写真ページ

●緊急連絡先　※不動産会社で情報を記入ください。
①本国のご両親１人
②日本国内の知人（友人可。国籍不問）

●お部屋探し～保証の流れ
①不動産会社で希望の部屋を申込みます。
②部屋の申込書を記入する際にGTNの「保証申込書」も必要事項を記入ください。
③在留カード、学生証の表・裏、パスポートの顔写真ページのコピーも提出してください。
④GTNから皆様に審査電話をさせていただきます。
⑤本国のご両親、国内の知人の方にも確認電話をさせていただきます。※GTNからお電話が入ることを必ず事前にお伝えください。
⑥審査通過後、保証委託契約書に記名と捺印（サインも可）をしてください。

健康管理

留学生にとって外国の不慣れな社会で言葉もうまく通じないまま、病気やけがをすることは大変不安なことです。留学生活を充実したものにするためには、健康であることが第一条件となります。本学には学生支援センターが設置されており、健康上の問題についてさまざまな相談を受け付けています。また、メディカルアシスタンスサービスに加入し留学生のサポート体制を整えています。なお、留学生も国民健康保険への加入が義務付けられています。

【定期健康診断の実施】
健康上の問題の早期発見と、健康の保持・増進を目的として、毎年４月に実施しています。

【健康相談・学生相談（カウンセリング）】
専門のスタッフがいつでもみなさんの健康上の問題やさまざまな悩みなどについて、相談を受け付けています。

取得できる資格

取得できる資格

● = 取得資格　◆ = 受験資格

学科	中学校・高等学校教諭※1	博物館学芸員	一級建築士	二級建築士・木造建築士	一級造園施工管理技士	二級造園施工管理技士	商業施設士	幼稚園教諭	保育士	社会福祉主事任用資格	准学校心理士資格
美術工芸	●	●									
キャラクターデザイン	●	●									
情報デザイン	●	●									
プロダクトデザイン	●	●									
空間演出デザイン	●	●					◆※5				
環境デザイン	●	●	◆※2	◆	◆※3	◆※4					
映画		●									
舞台芸術		●									
文芸表現		●									
こども芸術		●						●	●	●	●※6

※1　中学校・高等学校教諭免許状について
　　映画学科・舞台芸術学科・文芸表現学科・こども芸術学科は取得できません。
※2　2020年試験から卒業後すぐに一級建築士も受験可能となりました。
※3　卒業後、指導監督的実務経験年数1年以上を含む、3年以上の実務経験を経て受験資格を取得できます。
　　（カリキュラム改編により、受験資格が変更となる場合があります。）
※4　卒業後1年以上の実務経験を経て、受験資格を取得できます。（カリキュラム改編により受験資格が変更となる場合があります。）
※5　空間デザインコースのみ取得でき、卒業後1年間の実務経験を経て、受験資格を取得できます。
　　（在学中に「商業施設士補」を取得した場合は、卒業後の実務経験は不要です。）
※6　指定された科目を修得し、各自で申請する必要があります。

中学校・高等学校教諭免許状について

学科（コース）	免許状の種類
美術工芸（日本画/油画/写真・映像/アートプロデュース/文化財保存修復・歴史遺産） キャラクターデザイン 情報デザイン プロダクトデザイン 空間演出デザイン 環境デザイン	中学校教諭一種免許状（美術） 高等学校教諭一種免許状（美術）
美術工芸（染織テキスタイル / 総合造形）	中学校教諭一種免許状（美術） 高等学校教諭一種免許状（美術）（工芸）

教育目標

人類が直面する困難な課題を克服するために、自らの「人間力」と「創造力」を鍛え、社会の変革を牽引することのできる人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

京都芸術大学学士課程は、「藝術立国」を基本使命とし、教育目標に定める社会の変革を牽引することのできる人材の育成を目的として、「人間力」と「創造力」を身につけた学生に学位を授与します。「人間力」はおもに、自立した一人の人間として生きるための「知識・情報収集力」「コミュニケーション力」「倫理観」から成り立っています。「創造力」は、芸術の力を社会に活かすための「論理的思考力」「発想・構想力」「表現力」から成り立っています。

人間力

知識・情報収集力	自分をとりまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企図に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる
コミュニケーション力	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる
倫理観	自身の良心と社会の多元的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる

創造力

論理的思考力	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる
発想・構想力	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる
表現力	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

《教育課程編》

京都芸術大学芸術学部は、教育目標およびディプロマ・ポリシーを達成するため、以下の方針に基づきカリキュラムを編成します。カリキュラムは、学部共通の「芸術教養科目」と学科毎に開設する「専門科目」から構成され、両者が有機的に連動することにより、ディプロマ・ポリシーに定める6つの能力を体系的に修得できるようになっています。芸術教養科目は選択科目を中心に構成され、学生が自らの学修目的に応じて選択できるようになっています。専門科目はコア・カリキュラムとして精選された必修科目を中心に構成されています。

芸術教養科目

芸術教養科目は、大学の基本使命である「藝術立国」を理解し、芸術を未来社会に活かすうえで必要なリテラシーを身につけることを目的とした7つの科目群から構成されます。教養としての知識・技術を修得することに加え、さまざまな専門領域を学ぶ学生が協働して取り組むプロジェクト型授業や、専門の垣根を超えて学ぶ副専攻を通じて、領域横断的に学修します。

1. 教養科目群	広く世界や人間を知り、藝術立国の理念を社会で実現するための教養を身につける
2. 芸術科目群	自身の興味に応じて、芸術に関する理解をさらに深める
3. コミュニケーション科目群	芸術を社会につなぎ、多文化共生の礎を創る
4. プロジェクト科目群	学科横断的な環境のなかで、芸術の学びを社会で実践する
5. 日本文化科目群	藝術立国の理念に基づき、国際社会における日本の伝統文化について理解を深める
6. キャリアデザイン科目群	自己と社会に対する理解を深め、自身のキャリア形成を考える
7. 副専攻科目群	領域横断的な学びを通じて、主専攻での学びをさらに発展させる

副専攻は、新しい未来を芸術で切り開き、社会変革を行える人材を育成するため、専門科目（主専攻）での学びを主軸としながら、分野横断での体系的な学びを通じて、さらなる強み（知識・能力）を獲得し、主専攻での学びを応用・活用するために開設するものです。

専門科目

専門科目は、専門的な知識や理論、表現方法を、入門・基礎・応用・発展と段階的に身につけ、自身の研究・制作テーマを探求することを目的としたコア・カリキュラムから構成されます。すべての学科で地域社会や産業界と連携した社会実装型授業を導入し、芸術を社会に活かすことを実践的に学びます。各学年末には、それまでに学んだ知識や技術を統合し、高次の能力を発揮することを求める統合科目を設置し、1年を通じての学修到達度を測ります。「卒業研究・制作」において、4年間の学修成果として学位プログラムの達成度を測るとともに、その成果を広く社会に発信します。

《教育内容・方法》

初年次教育

芸術教養科目では、とくに「人間力」の基盤を形成し、芸術大学での基本的な学び方を身につけます。学科混成の少人数クラスで課題に挑む「クリエイティブワークショップⅠ・Ⅱ」や、言語的思考を通じて他者の価値観を尊重することを学ぶ「ことばとコミュニケーションⅠ・Ⅱ」など、これまでの学びを芸術大学での学びへとスムーズに接続するための入門科目を開講します。

専門科目では、とくに「創造力」の基盤を形成し、各専門領域で求められる知識と技術を獲得するための入門・基礎科目や、4年間の学修目標を理解し、自身で学修計画を立て主体的に学ぶための素養・能力を涵養するための入門科目を開講します。

教育目標

進路教育
進路教育は、社会の変革を牽引することのできる人材の育成を教育目標に掲げる本学にとって、きわめて重要な教育です。
芸術教養科目に開設するキャリア科目を通じて、本学での学びと社会の繋がりを理解するとともに、専門科目全体を通じて、自身が学んだ知識や技術を、自らの人生および社会のためにどう活かすかを考えます。また、キャリアデザインセンターが開講する正課外のプログラムや担当教員による定期面談など、きめ細やかな進路支援を行います。

教育方法および学修支援
授業の到達目標や評価基準、授業計画、事前・事後学修の内容などはシラバスに明記し、学生に提示します。授業は、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションといったアクティブ・ラーニングを多く取り入れるほか、反転学習を活用し、事前・事後学修の充実を図ることで、学生の主体的学修を促します。
4学期制(クォーター制)や週複数回授業を取り入れるほか、CAP制を設け学生が一度に学修する科目数を制限し、密度の高い学修を実現します。
各学期の始まりには、学生が学修目標や学修計画を立て主体的に学ぶことを支援するために、ガイダンスや担当教員による履修指導面談を実施します。学生は、担当教員とともに、学修管理システム(DPA)を活用して自身の学修状況をふりかえり、学修目標や学修計画を更新していきます。
さらに、一定の要件を満たした学生は、CAP上限を超えて履修登録が可能となるほか、成績不振学生には専門スタッフが学修アドバイスを行い、改善を支援します。

《学修成果》
成績評価は、学部共通のガイドラインおよびシラバスに記載する各授業の評価方法・基準に則り厳格に行います。学生自身が到達度を把握できるよう、一部の科目をのぞいてルーブリックを導入します。成績や単位修得状況、GPA、外部試験結果等はDPAを通じて学生に提供し、学生は自身の学修成果をいつでもふりかえり、学修計画に役立てることができます。

アドミッション・ポリシー（求める学生像および入学者選抜の基本方針）

京都芸術大学芸術学部は、「藝術立国」の基本使命に基づき、芸術による社会の変革をめざしていくために、ディプロマ・ポリシーに掲げる「人間力」と「創造力」、およびそれらを構成する「6つの能力」を身につけた人材を育成します。
そのための入学者受け入れ方針として、本学の基本使命や教育目標に共感し、芸術を学び、芸術を社会に活かそうとする意欲を有していることに加え、以下のような資質・能力がある者を求めます。また、入学者選抜法としては、入学者に求める資質・能力をより適切に評価するために、多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。

【入学者に求める資質・能力】
1．生涯を通じて学び続けるための基盤となる、基礎的・基本的な知識・技能を有している。
2．知識・技能を活用して、答えが一つに定まらない課題も解決できる思考力・判断力・表現力を有している。
3．主体性を持って行動し、多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている。

【入学者選抜方針】

外国人留学生体験授業型入試(Ⅰ期・Ⅱ期)
1. 授業に臨む姿勢に、授業を通して新しいことを学びとろうとする探究心が見られるか。
2. 初めて取り組む課題であっても、積極的に挑戦しようとする行動力が見られるか。
3. 出された課題に対して、様々な可能性を比較検討した上で自らの答えを導き出す思考力、発想・構想力が見られるか。
4. 授業を通して、教員のアドバイスや他の学生の考え方に耳を傾け、相互に理解しようとする努力が見られるか。

外国人留学生入試(Ⅰ期・Ⅱ期)
1. 高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力が見られるか。
2. 芸術に関わる知識や技術を身につけてきたか。
3. 就学するための十分な日本語能力およびコミュニケーション能力があるか。
4. 本学で自分を成長させようとする意欲があるか。

外国人留学生科目選択型入試(Ⅰ期・Ⅱ期)
1. 高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力が見られるか。
2. (鉛筆デッサン)芸術を学ぶ上で必要な基礎力としての「観察力・構成力・表現力」が身についているか。
3. (小論文)芸術を学ぶ上での基礎力としての「読解力・論理的思考力・文章表現力」が身についているか。
4. (国語・英語)高校までの基礎学力「基本的知識・文章読解力等」が正しく身についているか。

外国人留学生日本留学試験利用型入試
1. 高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力が見られるか。
2. 芸術を学ぶ上での基礎力としての「基本的知識・文章読解力・論理的思考力」が各教科において身についているか。
3. 就学するための十分な日本語能力があるか。

ソウル事務所

ADD	#1920, Rosedale Building, 280, Gwangpyeong-ro, Gangnam-gu, Seoul, 06367 KOREA
E-MAIL	seoul@office.kyoto-art.ac.jp
TEL	+82-70-7012-8260
URL	https://www.kyoto-art.ac.jp/kr/

台北事務所

ADD	Rm.8, 12F., No.50, Sec.1, Zhongxiao W.Rd., Zhongzheng Dist., Taipei City, 100506 TAIWAN
E-MAIL	c-wu@office.kyoto-art.ac.jp
TEL	+886- 975-922-905
URL	https://www.kyoto-art.ac.jp/tcn/

上海事務所

ADD	Room 2001, 168 Yude Road, Xuhui District, Shanghai, China 200030
E-MAIL	shanghai@office.kyoto-art.ac.jp
TEL	+86-156-1801-0354
URL	https://www.kyoto-art.ac.jp/scn/

学校法人 瓜生山学園
京都芸術大学

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2番地116号

アドミッション・オフィス

0120-591-200

受付時間｜月～土9:00 ～ 17:30（日曜・祝日・年末年始は窓口休止）

E-MAIL nyugaku@office.kyoto-art.ac.jp
URL https://www.kyoto-art.ac.jp

Kyoto University of the Arts
Adomission office

2-116 Uryuyama Kitashirakawa Sakyo-ku Kyoto 606-8271 Japan
TEL +81(0)75-791-9833